

タタール知識人による女性向け雑誌『スユム・ビケ *Sūyum Bika*』  
(カザン, 1913-1917) 目録

生 田 真 澄  
(神戸大学大学院)

A Table of Contents of *Sūyum Bika* (Kazan, 1913-1917), a Journal for  
Women Published by Tatar Intellectuals

IKUTA, Masumi  
Graduate School, Kobe University

The intention of this paper is to show the contents of *Sūyum Bika*, a journal for women, published by Tatar intellectuals from 1913 to 1917 in Kazan. After the Russian Revolution in 1905, many Russian Muslim reformist-intellectuals published periodicals to encourage new ideas, and in particular the “new method (*uṣūl-i jadīd*)” of teaching. *Sūyum Bika* was one of those periodicals, but noticeably this was the only Tatar periodical for female readers. And unlike most contemporary Muslim periodicals, which were short-lived, *Sūyum Bika* remained in publication for four years.

Its editorial staff were Ya'qūb Khalīlī (1878-1937), the chief editor-publisher, and two women, Asmā' Khalīlīya and Fakhr al-Banāt Sulaymāniya. The journal took its name from a queen of the Kazan khanate who was “famous for her patriotism”. The first issue of *Sūyum Bika* was published on 27 October 1913 in Kazan, and thereafter, an issue was published every other week almost without fail. On the first page of issues 1-1 through to 1-19, the editors described the publication as “An illustrated journal on literature, law, economics, morals and ethics, and domestic affairs, published for women every other week”. On founding the journal, they had two chief aims: to discuss the situations and roles of women in society; and to enlighten women on good ways of nursing and educating their children.

In this journal we can find many articles, novels, and poems by female writers. The journal *Sūyum Bika* therefore gives us invaluable information to analyze the activities of Tatar reformists, and especially of Tatar female intellectuals.

---

**Keywords:** Tatar, “*uṣūl-i jadīd*”, periodical, *Sūyum Bika*, woman  
キーワード: タタール, 「新方式」, 定期刊行物, 『スユム・ビケ』, 女性

1. はじめに
2. 『スユム・ビケ』について
3. 『スユム・ビケ』記事一覧

## 1. はじめに

19世紀末から20世紀初頭のヴォルガ・ウラル地域において、「新方式 *ušul-i jadid*」教育を支持したタタール知識人たちが女性の教育や社会進出などの問題について積極的に関わり論議していたということは、これまでの研究においてもしばしば指摘されてきている<sup>1)</sup>。「新方式」を支持する女性教師が女子学校を運営するといった活動に取り組んだように、タタールの知識人女性が社会参加し改革運動に携わっていたという例もいくらかは知られていよう<sup>2)</sup>。しかしながらこれらの事柄について十分な分析が行われている研究はいまだ現れてはおらず、明らかでないことはあまりにも多いと言わねばならない。その理由の一つはそれらに関する文献史料が不十分であるところに求められる。

ここに紹介する『スユム・ビケ *Suyum Bika*』は1913年から4年間カザンで発行されていた雑誌である。1905年革命以降ヴォルガ・ウラル地域ではタタール改革主義知識人による定期刊行物が次々と発行されるが、これはそれらの中でただ一つ、女性を読者に想定したものであった。検閲や財政難あるいは第一次世界大戦の影響などにより短期間のうちに停刊を余儀なくされた定期刊行物が多か

ったなかで、この雑誌は1917年の革命直後にいたるまで発行され続け、男性の著述だけでなく女性の手になる文章をも多数掲載していた。Bennigsen, *Quelquejay* 両氏のロシア・ムスリムの定期刊行物に関する研究の中でもこの雑誌はわずかに取り上げられているが<sup>3)</sup>、より揃ったコレクションが利用可能な現在ではさらに詳しい紹介が必要であろう<sup>4)</sup>。そこで本稿では『スユム・ビケ』誌の周辺について手短かに説明し、記事内容を目録の形で示す。今後、タタール知識人の女性の問題に関する思想や活動、とりわけ女性の活動を研究する上で、この作業は有意味であろう。

なおアラビア文字で書かれたテキストの転写は、現代タタール語やロシア語での表記を考慮せず、記されたアラビア文字に従って行った。また年月日は露暦によって表記した。

## 2. 『スユム・ビケ』について

『スユム・ビケ』誌は1913年10月27日にカザンで創刊された。誌名は、「祖国愛でもって知られる」<sup>5)</sup>16世紀中葉のカザン・ハン国の后妃スユム・ビケの名にちなんだものである。

編集発行者は Ya'qūb Khalīlī (1878-1937)<sup>6)</sup> であるが、創刊号の目次上に載せられている

- 1) 例えば Kanlidere 1997, pp.74-75, pp.135-136. など。
- 2) 1980年代に出された Rorlich 氏によるヴォルガ・タタールの通史の中でもそのような事例はいくらか紹介されている。Rorlich 1986, pp.99-101.
- 3) Bennigsen et Lemercier-Quelquejay 1964, pp.98-99.
- 4) 筆者が利用した史料は *Suyum Bika*, Kazan, 1913-1917, filmed in October 1993, filmed by National Library of Russia, Norman Ross Publishing INC., [missing: 1-9, 1-10, 2-3, 2-19, 4-13, 4-14, 4-17].
- 5) Battal-Taymas 1988, pp.30-32, (1925, pp.44-45).
- 6) 彼は「新方式」学校のための教科書の執筆や発行なども行った。彼については "Khalīlī Yakub Ibragimovich", M.Kh. Khasanov (gl.red.) 1999, p.624. で極めて簡単ではあるが紹介されている。また彼は1917年3月からは『子どもたちの世界 *Bālālār Dunyāsī*』誌の編集発行者にもなった。Bennigsen et Lemercier-Quelquejay 1964, p.191. 参照。『スユム・ビケ』の4-9号の裏表紙には『子どもたちの世界』誌の創刊号の広告が掲載されており、その照会先は『スユム・ビケ』編集部となっている。

犠牲祭の祝辞には彼の名前とともに *Asmā' Khalīliya* という女性の名前が記されており、彼女も編集に参加していたと考えられる<sup>7)</sup>。また1-22号に掲載された論説の中で *Fakhr al-Banāt Sulaymāniya* は「あなた方諸姉および私の娘たち（読者のこと—訳註）のために務め、あなた方に贈り物を残すという目的で私は『スユム・ビケ』編集部に来ました。私があるあなた方諸姉を（中略）進歩と文明の世界に導いていくよう努力するつもりであることをお信じ下さい。概してスユム・ビケ編集部のメンバーは皆そのような考えと方針にあります<sup>8)</sup>と述べ、これ以降編集の仕事をして

いた。編集部の所在地は当初カザン市の *Qābān* 湖畔の *Drūzhinīn* の建物の7号室となっているが、1-11号からは *Arkhipuf* の建物の1号室となっており、1914年2月半ばから3月末の間に移転したようである。印刷所は1-1号と1-2号はカザンの *Umīd* であるが、1-3号から *Ma'ālif* にかわり、3-1号で再び *Umīd* に戻っている。

創刊時の価格は1部20コペイカ。月2回発行で、予約購読価格は年間4ループリ、半年2ループリ50コペイカ、3カ月1ループリ35コペイカであった。1部売りの価格は3-15、16号から30コペイカに引き上げられ、それ以降は30コペイカの場合と25コペイカの場合とあるが、基本的には2号合併号の場合が30コペイカであった。予約購読価格は3-17号から年間5ループリ、半年3ループリ、3カ月2ループリに改定された<sup>9)</sup>。4-5号以降は1部売りが30コペイカあるいは35コペイカと

なり、4-11、12号からは1部50コペイカ、年間8ループリ、半年5ループリ、3カ月3ループリとなる。4-18号には年間12ループリ、半年7ループリ、1部1ループリと記されている。また広告料が1ページ目や裏表紙などにロシア語で記載されている場合もある。1-3号では本文の前（つまり表紙周辺）に掲載する場合は1行40コペイカ、裏表紙周辺の場合は30コペイカだったが、1-4号では本文の前で1行60コペイカ、後で40コペイカとなった。2-14、15号には本文の前で50コペイカ、後で40コペイカと書かれている。

最終号となった4-18号が1917年12月10日に発行されるまで、『スユム・ビケ』は第一次世界大戦を乗り切ってはほぼ定期的に隔週で発行され続けた。創刊号から1-19号までの約10ヶ月間の毎月1ページ目には「婦女子のために2週間に1回発行される、文学、法律、経済、倫理道徳、家庭についての、挿し絵入りの雑誌<sup>10)</sup>と書かれている。

創刊号には編集部によって編集方針が述べられているが<sup>11)</sup>、それによると雑誌創刊の理由はこうである。

我々の存在の半分を成している婦女子の世界のことにについて議論する新聞や雑誌がないということは、我々の出版における欠点であった。今から数年前に尊敬する我々の父 *Ismā'īl Ghasprinskī* 氏のご息女が『婦人たちの世界 *Ālam-i Nisvān*』という雑誌を発行し始めたが、残念ながら、その雑誌は長くは続かなかった。婦女子の世界は、自らのことにについて議論し、またその指導者となるような雑誌

7) *Sūyum Bika* (以下 *SB* と略記) 1-1, *Qazān*, 1913. 10. 27.

8) *Fakhr al-Banāt Sulaymāniya*, “*Khānim va tūtāshlār diqqatina*”, *SB* 1-22, 1914. 9. 15, pp.3-4. 彼女はこれ以降署名付きで積極的に寄稿している。Battal-Taymas 1988, p.185, (1925, p.221). では彼女は『スユム・ビケ』誌の編集者であったと述べられている。一方 *Asmā'* という署名のある記事は4年間で *Asmā'*, “*Iftirāgha javāb*”, *SB* 1-8, 1914. 2. 15, pp.19-20. の一点のみである。

9) 3-17号から22号までの表紙には編集部によって戦争による物価高のために雑誌の価格を上げねばならなくなったとの断りがある。“*Bahā ārtirdirdī*”, *SB* 3-17, 1916. 7. 15.

10) “*Khātūn-qizlārga makḥṣūš ikī ātnada bir chighā tūrghān adabī, ḥuquqī, iqtisādī, akhlāqī, 'iyālī, rasmlī zhūrnāl.*”

11) *Idāra*, “*Bīr nīcha sūz*”, *SB* 1-1, 1913. 10. 27, pp.1-2.

を欠いたままである。(中略) 無数の、無限に多くの必要性に満ちた存在についての、議論され、検討されるべき問題は数え切れない。

ゆえに我々はその状況を考慮して、もとより婦女子の状況および彼女たちに関する諸問題について議論する『スyum・ビケ』誌を発行することとなった<sup>12)</sup>。

女性に関する問題を論じ、女性を啓蒙する雑誌がないこと、これが『スyum・ビケ』創刊の動機であるが、「新方式」教育の提唱者である *Ismā'il Ghaṣṣrīnī* (1851-1914) の娘 *Shafīqa* が編集していた雑誌『婦人たちの世界』(バフチサライ, 1905-1907) が意識されてもいる。では「議論され、検討されるべき問題」とはどのようなものであろうか。この論説では引き続いて次のように語られる。

重視し検討すべき諸問題の中には、我々の方針において述べられているように、婦女子の社会、法律、政治、経済、家庭についての状況を説明するということがあるが、同様に子どもの教育の問題にも、わけて重要性が与えられよう。なぜならば我々の未来、将来は、我々の子どもたち、孫たちの手にあるからである。我々の未来が幸福であることを願うならば、疑いなく、教育を受けた子どもを育てなければならない。(中略) 教育を受けた子どもを育てるという責務は、教育を受けた母親の肩にかかっている。そのため教育方法や家庭に関する問題において模範となっていく雑誌を母親や将来母親となるであろう女子は必要としている<sup>13)</sup>。

以上の記述から創刊時における『スyum・ビケ』編集部の方針は、女性の置かれている状況について議論すること、および子どもを

教育する役目を担っている女性たちをとりわけ教育の問題に関して啓蒙すること、の二つであると言える。この論説の中には「子どもたちを民族的 *milli* な精神で教育する」という言葉も見られ、また末尾は「民族 *millat* の未来が教育を受けた子どもたちを育てる母親の手にある、ということを知るあらゆる民族主義者 *millatchī* が援助してくれることを我々は期待している」と締めくくられている<sup>14)</sup> ことから、子どもの教育は「民族的 *milli*」でなければならないと考えられていることも指摘できよう。

雑誌の内容は、論説の他には詩や小説などの文学が目立つが、料理のレシピや野菜の栽培法、育児方法や医学的知識などの家庭を営むための実用的な記事も数多く掲載されている。近代科学的な情報を読者に伝えようという意図が感じられるこれらの記事の中には、ロシア語などからの翻訳記事も含まれている。「新方式」の女子校や女性教員養成課程などの紹介にも力点が置かれており、とりわけ女性の活動を紹介するものが多い。政治色の強い記事は全体的に少ないが、やはり1917年3月15日発行の4-9号以降は増える。だがこの雑誌の最大の特徴は、投書も含めて女性が書いた記事の占める割合が非常に高いということであろう。これらの記事の内容を具体的に検討し、その執筆者であった女性たちの活動を明らかにしていく作業は、今後の課題とする。

### 3. 『スyum・ビケ』記事一覧

各記事に番号を付し、表題、執筆者名(翻訳記事の場合は翻訳者名)、頁の順で示す。表題の他に欄名のあるものはそれを表題の前に [ ] で示す。表題のある記事はその日本語訳を後に ( ) で付し、その後に論説およ

12) *Idāra*, "Bīr nīcha sūz", *SB* 1-1, 1913. 10. 27, pp.1-2.

13) *Idāra*, "Bīr nīcha sūz", *SB* 1-1, 1913. 10. 27, pp.1-2.

14) *Idāra*, "Bīr nīcha sūz", *SB* 1-1, 1913. 10. 27, pp.1-2.

びニュースや諸情報を伝える記事は〔論説〕、詩は〔詩〕、小説などその他の文学作品は〔文学〕、編集部から読者や投稿者への連絡事項を伝えるものは〔連絡〕と記した。表題のない記事は〔無題〕と記し、簡単な内容の説明を付けた。執筆者名のない記事は表題と頁のみを示している。各号の目次と実際の内容に相違がある場合は原則として内容に従った。なお筆者が利用したコレクションに含まれておらず入手の可能性も低い1-9, 1-10, 2-3, 2-19, 4-13, 4-14, 4-17の各号はここでは除かれている。

1-1号 (1913.10.27)

- 01) Bīr nīcha sūz (若干のことば)〔論説〕/Idāra/1-2
- 02) Muslimalarga khīṭāb (ムスリマたちへの呼びかけ)〔詩〕/Vāqif Jalāl/2-3
- 03) Shi'r (詩)〔詩〕/Sa'id Sünchalay/3
- 04) Shari'at qāshinda khātūn-qizlārī (シャリーアの前のにおける婦女子)〔論説〕/A. 'Iṣmatī/4-5
- 05) Süyum Bika (スユム・ビケ)〔論説〕/A. Fakhri/5-6
- 06) Qizlārgha bīgrākda tiyūsh (女子のために特にすべきこと)〔論説〕/Ibrāhīm Amīrkhān/6-9
- 07) Balakāy qizlārning ṣiḥḥatī ṣāqlāu (若い女子の健康を保つ)〔論説〕/A. Fakhri/9-11
- 08) Khātūn qizlārımız (我らが婦女子)〔論説〕/A. Baṭṭāl/11-13
- 09) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育)〔論説〕/13-15
- 10) Zāgrānītsāda khātūnlār ḥarakatī (外国での婦人運動)〔論説〕/16
- 11) Rūsyada khātūnlār ḥarakatī (ロシアでの婦人運動)〔論説〕/17-19
- 12) Āsh šū būlimī (料理欄)〔論説〕/19-20
- 13) Bīzanū sarlarī (化粧の起源)〔論説〕/21

1-2号 (1913.11.15)

- 01) Alifīyam! (我が Alifīya よ!)〔詩〕/Sa'id Sünchalay/1
- 02) Bālā (子ども)〔論説〕/Ḍiyā' Nāṣiri/2-4
- 03) Ḥuqūqmī? Tarbiyamī? (権利か?教育か?)〔論説〕/Amīr 'Alī Ibrāhīmuf/6-7
- 04) Kūnchilik (嫉妬)〔文学〕/Luṭfi 'Ādil/7-8
- 05) Mūsīqīdan da bir āz (音楽について少しばかり)〔論説〕/Abd Allāh Nādir/8-9
- 06) Balakay qizlārning ṣiḥḥatī ṣāqlāu (若い女子の健康を保つ)〔論説〕/A. Fakhri/9-11
- 07) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育)〔論説〕/11-13
- 08) Qūl ishlarī (手芸)〔論説〕/13-14
- 09) Bāshqa millat khātūnlārī (他の民族の婦人たち)〔論説〕/15-16
- 10) Rūsyada khātūnlār (ロシアでの婦人たち)〔論説〕/17
- 11) Musulmān khātūnlārında ḥarakat (ムスリムの婦人たちの活動)〔論説〕/17-18
- 12) Āsh šū būlimī (料理欄)〔論説〕/18-19
- 13) İtning yākhshilighin bilu (肉の良質なものを知る)〔論説〕/19
- 14) Yūrt kīraklarī (家庭の必需品)〔論説〕/19-20
- 15) Idāraga maktūblar (編集部への投書)〔論説〕/20-21
- 16) Idāradan javāblār (編集部からの返答)〔連絡〕/21

## 1-3号 (1913.12.1)

- 01) Qur'an büzü mas'alası (コーラン侮辱問題) [論説] /Süyüm Bika/1-4
- 02) [Shi'r (詩)] Tüş (夢) [詩] /Sa'id Sünchalay/4
- 03) Madaniyat yulinda khätünlär (文明の道における婦人たち) [論説] /5-6
- 04) Khätün-qiz vazifalari (婦女子の責務) [論説] /A. Fakhri/6-8
- 05) Birilgha şatilghän qiz (与え売られる娘) [文学] /N. Sh./8-9
- 06) Särt khätünlär va änlärgha särtlärlarning qaräshlari (サルトの婦人たちと彼女たちに対するサルトの人々の見解) [論説] /'Abd al-'Äziz Munäsibuf/9-11
- 07) Khätünlär tüghrisinda jüylish (婦人たちに關する集会) [論説] /R. Sh./12-13
- 08) Yäsh qizlärimizdan ütinich (若き女子の願ひ) [論説] /Ahmadjān Bikimiyif/13
- 09) Müsiqui tärikhindan bir äz (音楽史について少しばかり) [論説] /'Abd Alläh Nädir/13-14
- 10) Bāshqa millat khätünlari (他の民族の婦人たち) [論説] /15-16
- 11) Bälälär tarbiyası (子どもの養育) [論説] /'Ayni/16-19
- 12) Qül ishlari (手芸) [論説] /20-21
- 13) Yürt kiraklari (家庭の必需品) [論説] /21
- 14) Idaradan javblar (編集部からの返答) [連絡] /21

## 1-4号 (1913.12.15)

- 01) Üzilgän ümid (破れた希望) [文学] /Näzim/1-2
- 02) Tātär qizi (タタール女子) [詩] /Vaqif Jaläl/3
- 03) Bizning häli (我々の状況) [論説] /Ummukulthüm Tırishqäviya/3-5
- 04) Ävil khätünning türmishi (村の婦人の生活) [論説] /'Abd Allähjan 'Irfanuf/5-7
- 05) Türmish maydäninda khätünlär (生活の場における婦人たち) [論説] /Fädil Tüykin/8
- 06) Khätünlärgha huquq (婦人への権利) [論説] /Amir 'Ali Ibrähimuf/8-10
- 07) Süklü qizim! (親愛なる我が女子よ!) [論説] /Sara Ädütiya/10
- 08) Üqüchilarima (我が読者へ) [論説] /'A. Fakhri/10-12
- 09) Müsiquishinas «Bakh» kim? (音楽家「バッハ」とは誰か?) [論説] /'Abd Alläh Nädir/13-14
- 10) 'Ibratli süzlar (教訓的言葉) [文学] /14
- 11) Musulmān khätün-qizlarında hārat (ムスリム婦女子の活動) [論説] /15-16
- 12) Bälälär tarbiyası (子どもの養育) [論説] /16-17
- 13) Äsh şü bülimi (料理欄) [論説] /17-18
- 14) Yürt kiraklari (家庭の必需品) [論説] /18
- 15) Maktublar (投書) [論説] /19-20
- 16) Idaradan javblar (編集部からの返答) [連絡] /20

## 1-5号 (1914.1.1)

- 01) Muhtaram mushtarilar diqqatina! (購読者の方々ご注目を!) [連絡] /1
- 02) Tātär qizi (タタール女子) [詩] /M. Manāf/1-2
- 03) Millat nī kuta (民族は何を待ち望むか) [論説] /Şadri Jaläl/3-4
- 04) Yānglish Ädüm (間違った一歩) [論説] /Maryam M./4-8
- 05) Qärt qiz (老嬢) [文学] /Lufti 'Ädil/8-9

- 06) Bizning ҳāl (我々の状況) [論説] /Ummukulthüm Tırishqāviya/9-10
- 07) Türkistānda khātūnlār (トルキスタンでの婦人たち) [論説] /‘A. Tırishqāvi/10-12
- 08) Müsiqishinās «Bākh» kim? (音楽家「バッハ」とは誰か?) [論説] /‘Abd Allāh Nādir/12-13
- 09) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /14-16
- 10) Āsh şū būlimī (料理欄) [論説] /16-18
- 11) Yūrṭ kīraklarī (家庭の必需品) [論説] /18-19
- 12) Bālālār üynātūda kīngāsh (子どもを遊ばせるにあたっての助言) [論説] /‘A. Karīm/19-20
- 13) Maktūblar (投書) [論説] /20

1-6号 (1914.1.15)

- 01) Shahrda (街で) [詩] /Sa‘īd Sūnchalay/1
- 02) Shar‘at qāshinda khātūn-qizlār (シャリーアの前行ける婦女子) [論説] /Tuḥfatullāh Ūghlī/2-4
- 03) Īrining khiyānatī sabablī chākhūtka bülghān bir khātūnning bīshik qirindaghī sūzlarī (男の裏切りのために肺病となったある婦人のゆりかごの側のことば) [文学] /‘A. Būbi/5-9
- 04) Farghāna khātūnlārī tūghrisinda Nālīfkīn (フェルガナの婦人たちに関して, Nālīfkīn) [論説] /Aḥmad Zakī/10-11
- 05) Tūrmish maydāninda khātūnlār (生活の場における婦人たち) [論説] /F. Tūykin/12
- 06) Bir iki sūz (若干のことば) [論説] /Idāra/13
- 07) Mu‘allimalarga yūlbāshichi: qizlārgha makhşūş sikiz sanalik maktabning prūghrāmmāsī (女性教師の指導者：女子のための八年間の初等学校課程) [論説] /Ya‘qūb Ādūtuf/14-16
- 08) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /‘Aynī/17-19
- 09) Āsh şū būlimī (料理欄) [論説] /19
- 10) Idāraga khatṭlār (編集部への文書) [論説] /20-21
- 11) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /21
- 12) Muḥtaram mushtarīlar diqqatina! (購読者の方々ご注目を!) [連絡] /Idāra/21

1-7号 (1914.1.25)

- 01) Payghambar (預言者) [詩] /‘A. Tūqāy/1-2
- 02) Mavlūd (生誕) [詩] /H. Ishāqī/2
- 03) Shādliq kūnī (喜びの日) [論説] /‘A. ‘Işmatī/3-6
- 04) Raḥmatlī kūn (感謝の日) [論説] /Shahīd Aḥmadiyif/6-8
- 05) Payghambarimiz va khātūnlār (我らの預言者と婦人たち) [論説] /Akmālī/8-11
- 06) Muqaddas kūn (聖なる日) [論説] /Ustādh Bika/11-13
- 07) Bayramda khātūnlār (祝祭での婦人) [論説] /Luṭfi ‘Ādil/13-15
- 08) Mavlūd-i nabī munāsabatī ila (預言者の生誕に関して) [論説] /‘Abd Allāh Nādir/15-17
- 09) Bayram īdī (祝祭であった) [論説] /L‘/17-19
- 10) Zūrlār sūz (偉人の言葉) [文学] /19
- 11) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /20

## 1-8号 (1914.2.15)

- 01) Hādirgī mas'ala (現在の問題) [論説] /1-2
- 02) [無題: Khadija Khānim Aḥmīrūvā の略伝] [論説] /3-4
- 03) Hijāb mas'alasī (ヒジャーブの問題) [論説] /Jamāl al-Dīn Valīdūf/4-6
- 04) Gharbī yāvruḩpāda khātūnlār ḩarakatī ham khātūnlār mas'alasī (西ヨーロッパでの婦人運動と婦人問題) [論説] /Fātiḩ Sayfī Qāzān/6-8
- 05) Astrakhānda khātūn-qizlārgha makḩṣūṣ ũqu kīchasi (アストラハンでの婦女子のための読書の夕べ) [論説] /Mukḩbir/8-11
- 06) Zūrlār sūzī (偉人の言葉) [文学] /11
- 07) Māhrūy Khānim Muḩaffariyaning qīṣqachaghina tarjuma-i ḩālī (Māhrūy Khānim Muḩaffariya の略歴) [論説] /12-13
- 08) Yūrt kūtū tūrinda (家庭経営について) [論説] /13-16
- 09) Khātūnlār ḩurriyatindan bir namūna (婦人の自由の一例) [論説] /16-17
- 10) Dār al-funūnda tūrkhātūnlārīna makḩṣūṣ darslar (大学でのトルコ婦人のための学課) [論説] /17
- 11) Maktūblar (投書) [論説] /17-19
- 12) Iftirāgha javāb (中傷への返答) [論説] /Asmā'/19-20
- 13) Yūrt kīraklarī (家庭の必需品) [論説] /20-21
- 14) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /21

## 1-11号 (1914.4.1)

- 01) Khātūnlār ḩurriyatī (婦人の自由) [詩] /'A. Tūqāy/1
- 02) 'Abd Allāḩ Tūqāyif iḩūn ('Abd Allāḩ Tūqāyif のために) [論説] /Y. Khalīlī/2-4
- 03) Tūqāy qabrī yaninda (Tūqāy の墓前で) [詩] /Vāqif Jalāl/4
- 04) Shā'irimiz 'Abd Allāḩ Tūqāyifning khātūnlārgha qarāshī (我らが詩人 'Abd Allāḩ Tūqāyif の婦人観) [論説] /Shahīd Aḩmadīyif/5-7
- 05) Āning sūyiklū ũghlī (その愛ある息子) [論説] /Ṣadrī Jalāl/7-9
- 06) 'Abd Allāḩ 'Ārif Ūghlī Tūqāy ('Abd Allāḩ 'Ārif Ūghlī Tūqāy) [論説] /«Chaghatāy»/10-15
- 07) Un (苦しみ) [詩] /'A. ḩārith/16
- 08) Khātūnlār tūrinda Tūqāy (婦人との関連における Tūqāy) [論説] /L. 'Ādil/16-18
- 09) Sūndī! (消えた!) [詩] /'A. Ṣan'atī/18
- 10) Bibī Khānim Madrasasī (Bibī Khānim のマドラサ) [論説] /'Abd al-ḩamīd Azmītuf/19
- 11) Mu'allim va mu'allimalarga āchiq khaṩṩ (男女の教師に宛てた文書) [論説] /Māhrūy Muḩaffariya/20
- 12) Tātār khātūnlārīning ũzghānī va kilachagī (タタール婦人の過去と未来) [論説] /Zaynab Valiyivā/20-21
- 13) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /21

## 1-12号 (1914.4.15)

- 01) Khātūnlār īska ālū (婦人たちについて述べる) [論説] /Y. Khalīlī/1-2
- 02) Fāṩima Farida Khānima (Fāṩima Farīda Khānim に) [詩] /ḩarrāth Fakḩrī/3



- 03) ‘Aqlli va ũtkin khātũnlār (聡明かつ明敏な婦人たち)〔論説〕/Jamāl al-Dīn Valīduf/3-5
- 04) Khātũnlār ħurligī (婦人の自由)〔論説〕/Maryam Īzmāyiluvā/5-7
- 05) Bũkũngī vazīfamiz (今日の我々の責務)〔論説〕/‘Ayān Muštāqāyivā/7-9
- 06) Bukhārāda ũyghānũ atharlarī (ブハラにおける覚醒の結果)〔論説〕/Zaynab Dīnikāyivā /9-10
- 07) Qarya qizlāringda ũqũ nīchik? (村の女子の学びは如何にして?)〔論説〕/Sāra/10-11
- 08) Kīrakli bir ish (必要な仕事)〔論説〕/Zāhida/11-12
- 09) Mātũrliq narsa (美しさとは何か)〔文学〕/Badrīshīr/12
- 10) ũqũchīlār bilan mušāĥiba (読者方々とともに)〔論説〕/Ībdash/13-14
- 11)〔無題：投書〕〔論説〕/14-15
- 12) Rũscha ũqũ tũringda (ロシア語を学ぶことについて)〔論説〕/Qamar Bānũ Bāltāchīvā/15
- 13) Tũrysķī (トロイスク)〔論説〕/Ummukulthũm Ismā’īluvā, Maryam Shaykh al-Salāmuvā, Nafisa Muĥammadashīhā, Gulchahra Muĥammadjānuvā/16
- 14) Khātũn-qiz diqqatına (婦女子方々ご注目を)〔詩〕/Āmina bint Mullā Muṭīr Allāh Tuĥ fatullīnā/16
- 15) Khātũnlār bilan shāyārũ (婦人たちとの遊び)〔文学〕/17
- 16) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育)〔論説〕/17-19
- 17) Bāqchachīliq (園芸)〔論説〕/19-21
- 18) Idāradan javāblār (編集部からの返答)〔連絡〕/21

1-13号 (1914.5.1)

- 01) Yāzghī tũnda (春の夜に)〔文学〕/Jamāluddīn Yũmāyif/1-4
- 02) Astrakhānda ħukũmat ũrtā maktablarında ũqũchī musulmān qizlarī (アストラハンの官立中等学校の生徒であるムスリムの女子)〔論説〕/Q. Qũlātiqī/4-5
- 03) [Shī’r (詩)] Isming (あなたの名)〔詩〕/Sũnchalay/6
- 04) [Shī’r (詩)] “Qizghānich qizlār va kũkdan javāb” (「哀れな娘と天からの答え」)〔詩〕/6-7
- 05) Khātũn yũrāgī tālpinā (婦人たちの心が羽ばたく)〔論説〕/Naqīya/7-9
- 06) Marĥamatsizlar (無慈悲)〔論説〕/Fātiĥ Sayfi/9-10
- 07) Khātũnlār ĥālī (婦人たちの状況)〔論説〕/Sh. Aĥmadīyif/10-13
- 08) Bukhārāda Tũqāy kīchasi (ブハラでの Tũqāy の夕べ)〔論説〕/Fāṭima Muvallahīvā/13-14
- 09) Bālālār kũzin i’tibārgħa ālũ (子どもたちの目を考慮する)〔論説〕/14
- 10) Bālālār tarbiya tũrisında zũrlār sũzī (子どもの養育に関する偉人たちの言葉)〔文学〕/15
- 11) Imtiĥān bulũ munāsatī bilan muvaffaqiyatli ũqũ kīchasi! (試験に関して成功した読書の夕べ!)〔論説〕/Mastũra Zabīruvā/15-16
- 12) Ĥifz al-šīĥĥat (保健)〔論説〕/16-17
- 13) Ānalārgħa bir kīngāsh (母親たちへの助言)〔論説〕/17
- 14) Bālāning avvalgī ālti yili (子どものはじめの六年間)〔論説〕/17-20
- 15) Kabusta (キャベツ)〔論説〕/20-21

## 1-14号 (1914.5.15)

- 01) Īndī mīn āngār rinjmīm! (もう私はそのことを悩まない!) [文学] /Ş. Jalāl/1-4
- 02) Büküngī vazīfamiz (今日の我々の責務) [論説] /‘Ayān Muştāqayivā/4-8
- 03) Yārdam, yārdam! (助けを, 助けを!) [論説] /Lah Mu‘īn/8-11
- 04) Qāzāq khātūn-qizlārī (カザクの婦女子) [論説] /Qayyūm Qūlātqī/11-13
- 05) [Shi‘r (詩)] Yāz irtasī (春の朝) [詩] /‘A. Şan‘atī/13-14
- 06) Khātūn-qiz diqqatina! (婦女子方々ご注目を) [詩] /‘Āmina bint Mullā Muṭī‘ Allāh Tuḥfatullīnā/14
- 07) Īskī Bukhārāda maktab Khālīdiya Rushdī l nchī şanf ṭalabasī Fāṭima Dīnikāyūvā ṭarafından imtihānda süylangān nuṭqning khulāşasī (旧ブハラの初等学校 Khālīdiya Rushdī の第一学年の生徒 Fāṭima Dīnikāyūvā によって試験で話された演説の概要) [論説] /‘Āysha Bürnāshivā/14-15
- 08) Ūrāliskīda Tuḥfatullīnlar idārasindagi qizlār maktabında yāşālmish mavlūd majlisında Zarīfa Tuḥfatullīnā ṭarafından süylangān nuṭqning mafhūmī (ウラルスクの Tuḥfatullīn 家が運営する女子初等学校で行われた生誕集会で Zarīfa Tuḥfatullīnā によって話された演説の内容) [論説] /Habīb Ḥamīduvā/16-17
- 09) Musulmān khātūn-qizlārında ḥarakatī (ムスリム婦女子の活動) [論説] /17-19
- 10) Ḥifz al-şihḥat (保健) [論説] /‘A. Fakhri/19-20
- 11) Diqqat itmili (注意せねばならない) [論説] /Tātār Qizi/20-21

## 1-15号 (1914.6.1)

- 01) Īndī mīn āngār ranjmīm (もう私はそのことを悩まない!) [文学] /Ş. Jalāl/1-4
- 02) Khātūn qizlār ḥaqqında (婦女子に関して) [論説] /‘A. Şan‘atī/4-6
- 03) Favziyam! (我がFavziyaよ!) [文学] /‘Āmina Th./6-9
- 04) Ṭürmish maydānında khātūnlār (生活の場における婦人たち) [論説] /F. Ṭuykīn/9-10
- 05) Şart khātūnining yāz bayram (サルトの婦人たちの春の祝祭) [論説] /‘Abd al-Ḥamid Azmūtuf/10-12
- 06) Ghūljada khātūnlār iḥūn ijihād (グルジャでの婦人たちのための努力) [論説] /B. ‘A./12-13
- 07) Qūrqaľighibizdan kīlgān ḍarar ham, ghayrat, himmat (無気力から生じる害および努力と尽力) [論説] /Maḥabbat/13-14
- 08) Bakhtsiz khātūn (不幸な婦人) [論説] /Lapiski/14-15
- 09) [無題: 投書] [論説] /15-16
- 10) Qāzāq khātūn-qizlārī (カザクの婦女子) [論説] /Qayyūm Qūlātqī/16
- 11) Bālālār tarbiyasi (子どもの養育) [論説] /17-18
- 12) Hikāyachik (小篇) [文学] /M. Faydī/19-20
- 13) Chībarlik ārtından (美しさの方から) [論説] /20-21
- 14) Āsh şū būlimī (料理欄) [論説] /21

## 1-16号 (1914.6.15)

- 01) Īndī mīn āngār ranjmīm (もう私はそのことを悩まない!) [文学] /Ş. Jalāl/1-4

- 02) *Yashirin maḥabbat* (秘密の愛) [文学] /*Jamāl al-Dīn Yūmayif*/5-9
- 03) [無題：投書] [論説] /7
- 04) *Umīd* (希望) [詩] /*Dhī al-Nūr Aḥmadī*/10
- 05) *Tarbīya haqqında* (教育に関して) [論説] /*Umm Gulthūm Tırışqāviya*/10-12
- 06) *Kītmas qāyghim* (去って行かない我が悲しみ) [詩] /*Maḥabbat*/12
- 07) *Bakhsiz tātār qizī* (不幸なタタールの娘) [詩] /*Ishāq Bākhītif*/12-13
- 08) *Qizghānich Mīngli Jamāl* (哀れな *Mīngli Jamāl*) [文学] /*Māhrūy Muḥaffariya*/13-17
- 09) *Bālālār tarbiyasī* (子どもの養育) [論説] /18
- 10) *İyü āptikāsī* (良い薬) [論説] /19-20
- 11) *Übū nirsā?* (接吻とは何か?) [文学] /*Badrīshīr*/20-21
- 12) *Āmirīqā khātūnlār* (アメリカの婦人たち) [論説] /21

1-17号 (1914. 7. 1)

- 01) *Bir mātūrgha* (ある美しい人へ) [詩] /*Jamāl al-Dīn Yūmayif*/1
- 02) *Qirīm khātralarī* (クリムの記憶) [論説] /*Sh. Muḥammadyāruf*/2-5
- 03) *İndī mīn āngār ranjmīm* (もう私はそのことを悩まない!) [文学] /*Ş. Jalāl*/5-7
- 04) *Ghūljada qizlār imtiḥanī* (グルジャでの女子の試験) [論説] /*Hasan Fāṭima Būbī*/7-12
- 05) *Khātūn-qiz diqqatina* (婦女子方々ご注目を) [詩] /*Āmina bint Mullā Muṭīr Allāh Tuḥfatullinā*/12
- 06) *Mālmizhda musulmān qizlārī üchün hunarkhāna* (マルムジュのムスリム女子のための技術学校) [論説] /*‘A. Khaṭṭī*/12-14
- 07) *Ta’aththur mīnūtlārında* (悲しみの瞬間に) [詩] /*V. J.*/15
- 08) *Khātūnlār tāvishī* (婦人たちの声) [論説] /15-16
- 09) *Musulmān khātūn-qizlārī haqqında ānkīt* (ムスリム婦女子に関するアンケート) [論説] /17
- 10) *Maṭbū’at* (出版物) [論説] /18
- 11) *Qizghānich Mīngli Jamāl: Mīngli Jamāl Tūtāshning shahrga bārūvī* (哀れな *Mīngli Jamāl* : *Mīngli Jamāl Tūtāsh* が街へ行く) [文学] /*Māhrūy Muḥaffariya*/18-20
- 12) *Bālālār āshī* (子どもの食物) [論説] /20

1-18号 (1914. 7. 15)

- 01) *Pitirbūrghda kingāsh majlisī ham khātūn qizlarimiz* (ペテルブルグでの会議と我らが婦女子) [論説] /*Kh. Ablī*/1-4
- 02) *Būkūngī vazīfamiz* (今日の我々の責務) [論説] /*‘Ayān Muṣṭaqāyivā*/4-7
- 03) *İndī mīn āngār ranjmīm* (もう私はそのことを悩まない!) [文学] /*Ş. Jalāl*/8-10
- 04) *Khānimlār türkīmīna* (婦人たちの集まりに) [詩] /*Qiyām Yūldāshuf*/10
- 05) *Türmish* (生活) [論説] /*Umm Gulthūm Tırışqāviya*/11-12
- 06) *Qitāy khātūn-qizlārī* (中国の婦女子) [論説] /*‘Alī Ḥabīb*/12-14
- 07) *Khātūn-qiz diqqatina* (婦女子方々ご注目を) [詩] /*Āmina bint Mullā Muṭīr Allāh Tuḥfatullinā*/14
- 08) *Vaḥshīr* (野蛮な男) [論説] /*Mīngli Jamāl ‘Izzatullinā*/15-17

- 09) İbdashlarīma (我が仲間たちへ) [論説] /Gulthüm/17-19
- 10) [無題：投書] [論説] /19
- 11) Muhtaram «Süyum Bika» idārasına! (『スユム・ビケ』編集部御中!) [論説] /19-20
- 12) Bālālār āshī (子どもの食物) [論説] /20

## 1-19号 (1914. 8. 1)

- 01) Ānā mahabbatī (母の愛) [文学] /Fāṭima/1-5
- 02) Shi'r (詩) [詩] /Sa'īd Sūnchalay/5
- 03) Dīn va tūghān til (宗教と母語) [論説] /Ummugulthüm Tīrīshqāviya/5-7
- 04) [Shi'r (詩)] Qāzāq qizīna (カザクの娘に) [詩] /Jamāl al-Dīn Yūmayif/8
- 05) Ūz tūrmishimizdan bir lavḥa (我々の生活の中のある図) [論説] /Bībī Jamāl Tīrīshqāviya /9-11
- 06) Dūstima (我が友へ) [詩] /Zahira Bāyčūrīnā/12
- 07) Khātūn-qizlār īchūn khuṣūṣī kūrslār (婦女子のための学課) [論説] /Ismā'īl 'Ābidī/12-14
- 08) Tātār qizīna (タタールの娘に) [文学] /'Abd al-Raḥmān Adhamuf/14-15
- 09) Ūrāliskīda, mu'allima Bībikī Bilikūvā vafāt (ウラルスクで、女性教師 Bībikī Bilikūvā のご逝去) [論説] /Yūlchī/15
- 10) Javāb (返答) [論説] /Lah Mu'in/16
- 11) Qūl ishlarī (手芸) [論説] /17-18
- 12) Bālālār tarbiyasi (子どもの養育) [論説] /19
- 13) Bālālār āshī (子どもの食物) [論説] /20
- 14) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /20

## 1-20号 (1914. 8. 15)

- 01) Khātūnlār tūrinda Gūgul (婦人との関連におけるゴージャス) [論説] /Luṭfi 'Ādil/1-5
- 02) Musulmān isiyizdinda qūrsisqalarimiz (ムスリムの大会における我々が女子生徒) [論説] /M. Ūrālbāyuvā/5-9
- 03) Jalīlār (明らかなものたち) [詩] /'A. Ṣan'atī/9-10
- 04) Millat va aning tāmirlārī (民族とその根) [論説] /Ummugulthüm Tīrīshqāviya/10-11
- 05) [Shi'r (詩)] Ṣabī tilagī (若者の願い) [詩] /12
- 06) Kīlan (花嫁) [詩] /Bībī Jamāl Tīrīshqāviya/12
- 07) Şūghish ham türk va tātār khātūnlārī (戦争, およびトルコとタタールの婦人たち) [論説] /Gul'idhār/13-15
- 08) Şūghish va tātār khātūnlārī (戦争とタタール婦人) [論説] /Bībī Jamāl Tīrīshqāviya/16-17
- 09) Khātūn-qiz diqqatına (婦女子方々ご注目を) [詩] /Āmina bint Mullā Muṭī' Allāh Tuḥfatullīnā/17
- 10) Ūzingnī qizghāndirū (あなた自身を哀れませること) [論説] /A. 'Ābidī/18-19
- 11) Narsa bū (これは何か) [詩] /'A. 'Ismatī/19
- 12) Bālālār ūchūn sāf havā (子どものための澄んだ空気) [論説] /Mūsā al-Ismāqī/20

1-21号（1914.9.1）

- 01) Yalghiz gul（ひとつの花）〔詩〕/Fāṭima ‘Aynullinā/1-2
- 02) Khātūnlār tūghrinda Gügül（婦人との関連におけるゴーゴリ）〔論説〕/L. ‘Ādil/3-5
- 03) Niga şüng sîn mîni süyasing?（一体なぜあなたは私を愛するの?）〔文学〕/Ş. Jalāl/5-6
- 04) Ay mātūr qiz（ああ美しい娘よ）〔詩〕/V. J./7
- 05) “Nılar bār kūklarda, nılar bār jirlarda?”（「何が天にあり，何が地にあるのか?」）〔論説〕/Ismā‘il ‘Ābidī/8-11
- 06) Astrākhān khātūnlārī（アストラハンの婦人たち）〔論説〕/Hasan al-Dīn Karīmuf/11-14
- 07) Matānat kīrak（忍耐が必要である）〔論説〕/Vaqt ghazītasından/14-16
- 08) Ūl mātūr（かの美しさ）〔詩〕/M. Manāf/16-17
- 09) Şarb khātūnī（セルビアの婦人）〔論説〕/17-18
- 10) Mīnim mūngim（我が悲しみ）〔文学〕/Rāḍiya Zaynullīna/18-19
- 11) Āziqlānū（食べること）〔論説〕/‘A. Fakhri/19-21

1-22号（1914.9.15）

- 01) Buyūk ustādh Ismā‘il Bik Ghasprīnskī（偉大なる師 Ismā‘il Bik Ghasprīnskī）〔論説〕/Y. Khalīlī/1-3
- 02) Khānim va tūtāshlār diqqatına（婦女子方々ご注目を）〔論説〕/Fakhr al-Banāt Sulaymāniya/3-4
- 03) İstānbül khātirātī（イスタンブルの回想）〔論説〕/Bāghbistān/4-8
- 04) [Shī‘r（詩）] Lirmüntufdan（レールモントフから）〔詩〕/Jamāl al-Dīn Yūmayif/8
- 05) Āvilda mu‘allima（村の女性教師）〔文学〕/Āsil Fakhri/9-11
- 06) Khātūnlār tūrinda Gügül（婦人との関連におけるゴーゴリ）〔論説〕/L. ‘Ādil/11-13
- 07) Khātūnlār hīmāyasizligi（婦人の保護がないこと）〔論説〕/Khādīja Chānīshuvā/13-14
- 08) Aşlda hürriyat nī bülā? Siz nī dīsiz?（元来自由とは何か? あなたは何と言いますか?）〔論説〕/Khādīja Shimāsiya/14-15
- 09) Süyiklimning rasmīna qārāb :（私の愛するものの絵を見て:）〔詩〕/Ummugulthūm Tīrishqāvīya/16
- 10) Bir rasmga（一枚の絵に）〔詩〕/Zāhira/16
- 11) Qitāy tarafında Trüyskī Şabskī digān shahrdan yāzālār（中国方面のトロイスキー・サプスキーという街から書く）〔論説〕/17
- 12) Tātār khātūnī irikli bülürgha tiyūsh!（タタル婦人は自由でなければならない!）〔論説〕/Ibrāhīm Valiyif/17-19
- 13) Qazāq khātūn qizlārī（カザクの婦女子）〔論説〕/V. J./19-20

1-23号（1914.10.1）

- 01) Nīndi kūn?（どんな日か?）〔詩〕/Mirzānuf/1-2
- 02) Ismā‘il Bik Ghasprīnskī（Ismā‘il Bik Ghasprīnskī）〔論説〕/Fakhr al-Banāt Sulaymāniya/2-4
- 03) Millat dāhīsī（民族の賢者）〔論説〕/Y. Khalīlī/4-7
- 04) Bābāmiz Ismā‘il Bik（我らが父 Ismā‘il Bik）〔論説〕/Shahīd Ahmadiyif/7-9

- 05) Qiymatli khurma āghāchī šindī! (高貴ななつめやししが枯れた!) [論説] /Māhrūy Muẓaffariya/9-10
- 06) Kūz yashlarī... (涙…) [詩] /‘A. Şan‘atī/10-11
- 07) Bir āz ūzgārtilgān tūsh (少し変えられた夢) [論説] /M. Aḥmar/11-13
- 08) Ta‘ziya (哀悼) [論説] /Māhrūy Muẓaffariya shāgirdlarī/13
- 09) Mudillī Ā. (でしゃばりな Ā) [論説] /Luṭfi ‘Ādil/13-16
- 10) Şūghish munāsibatī ila (戦争に関連して) [論説] /16
- 11) Mişr khātūnlārī (エジプトの婦人たち) [論説] /17
- 12) Ūqūchilār birla muşāhibā (読者方々とともに) [論説] /Dūstingiz/17-18
- 13) Qitāy khātūn qizlārī (中国の婦女子) [論説] /18-19
- 14) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /20

## 1-24号 (1914.10.17)

- 01) «Sūyum Bika» Zhūrnālīna hadiyamiz (『スユム・ビケ』誌への我々の贈り物) [論説] / Riḍā’ al-Dīn b. Fakhr al-Dīn/1-5
- 02) Ḥaḍrat-i Fātīmaning qahramānligḥī (Fātīma さまの勇氣) [文学] /Y. Khalīlī/5-8
- 03) Şūghish ham mūdā (戦争とモード) [論説] /Basharuf/8-12
- 04) Kūz (瞳) [詩] /Z. Ḥubbīya/12
- 05) Ḥurriyatnī niḥik anglīsiz (Ānkitka javāb) (あなたは自由をどのように理解しますか? (アンケートへの回答)) [論説] /Salīma/13-14
- 06) ‘Īd-i sa‘īd mubārak ūlsūn! (祝祭のお祝いを申し上げます!) [論説] /Fakhr al-Banāt Sulaymāniya/14-15
- 07) Ḥuqūqqa ‘ā‘id (権利について) [論説] /Sh. Aḥmadiyif/15-17
- 08) Vaqt yārdim tilī (時は助けを望む) [論説] /17-18
- 09) Iftirāgha javāb (中傷への返答) [論説] /Fātīma Farīda/19-20

## 2-1号 (1914.11.1)

- 01) Zhūrnālimizning ikinchī ilī (我々の雑誌の二年目) [論説] /Y. Khalīlī/1-2
- 02) Ḥurriyat nirsā? (自由とは何か?) [論説] /Fakhr al-Banāt Sulaymāniya/3
- 03) Khātūn-qizlārimiz ḥaqqinda muḥtaram Mūsā Afandī Bigīyif fikrī (我らが婦女子に関する尊敬する Mūsā Afandī Bigīyif の思想) [論説] /4-6
- 04) Yūragīma! (我が心へ!) [文学] /‘A. A./6-7
- 05) Ḥaḍrat-i Fātīmaning qahramānligḥī (Fātīma さまの勇氣) [文学] /Y. Khalīlī/7-10
- 06) Yāngā ilgha īzgī tilaklarim (新しい年にむけての私の良き希望) [論説] /Māhrūy Muẓaffariya/10-11
- 07) [Shī’r (詩)] ...gha (…へ) [詩] /Jamāl al-Dīn Yūmayif/11-12
- 08) Dār al-mu‘allimāt (女子師範学校) [論説] /Z. Ḥusayn/12
- 09) Bālālarning yākhshī bülūvī ātā ānāning yākhshī bülūvinda (子どもが良くなることは父母が良くなることにある) [論説] /Z. Ḥubbīya/12-13
- 10) [Shī’r (詩)] Tūnlarim va kūnlarim (我が夜と我が昼) [詩] /‘Ālimjān Āqchūrīn/13-14
- 11) Yāpūnyāda khātūnlār... (日本の婦人たち…) [論説] /‘A. Raḥimuf/14-15

- 12) *Āvillärda famīnizm* (村々でのフェミニズム) [論説] /*Lapayski*/16-17
- 13) *Khānim va tūtāshlārgha* (婦女子方々へ) [論説] /*Khadija Timbikiya*/17-18
- 14) *Matbu‘at ‘alamī* (出版物の世界) [論説] /18-19
- 15) *Qazānda khātūn-qiz ‘alamī* (カザンの婦女子の世界) [論説] /19-21

2-2号 (1914.11.15)

- 01) *Madanī tarbiya* (文明的教育) [論説] /*Fakhr al-Banāt Sulaymānuvā*/1-3
- 02) *Shi‘rchiik* (小詩) [詩] /*S. Sunchalay*/3
- 03) *Şulghan chachak* (しおれた花) [文学] /*M. ‘Uthmān*/3-5
- 04) *Muhtaram khvājamiz Ismā‘il Bik rūhīna* (尊敬する我らが師 *Ismā‘il Bik* の御魂に) [論説] /*‘Abd Allāh Būbi*/5-7
- 05) *Bābāmiz Ismā‘il Bikning rūhī āldinda tiz chūgam* (我らが父 *Ismā‘il Bik* の御魂の前に私は跪く) [論説] /*Ābrūy Naqiya*/7-9
- 06) *Ūgī bālāning kūrmişī* (継子の見たこと) [詩] /*Imām al-Dīn Shimāsī*/9-10
- 07) *Ham qūanābiz ham bürchilābiz* (我々は喜びもし、心配もする) [論説] /*‘A. M. Chaghatāy*/10-11
- 08) *Aydangiz birla!* (言ってください、ともに!) [論説] /*Kāmila Muzařariya*/11-13
- 09) *Bakhtsiz tūghānlār* (不幸な生まれ) [詩] /*‘A. Şan‘atī*/13
- 10) *Hifz al-şihhat* (保健) [論説] /*‘Abd Allāh Sulaymān*/14-16
- 11) *Zindān yimishlarī* (牢獄の果実) [詩] /*Zayn al-Dīn Tāj al-Dīnuf*/16-17
- 12) *Muslimānlärda khātūn-qiz ‘alamī* (ムスリムの婦女子の世界) [論説] /17-19
- 13) *Qazānda khātūn-qiz ‘alamī* (カザンの婦女子の世界) [論説] /19
- 14) *Idāraga maktūblar* (編集部への投書) [論説] /19-20
- 15) *Idāradan javāblār* (編集部からの返答) [連絡] /20

2-4号 (1914.12.15)

- 01) [*Shi‘r* (詩)] *Yash qizgha* (若い娘へ) [詩] /*Jamāl al-Dīn Yümāyif*/1
- 02) *Sharqda khātūn tasatturdan ilk ham şung* (東方における婦人の隔離について、以前と最近) [論説] /*Fakhr al-Banāt Sulaymāniya*/2-6
- 03) [*Kitāblār ham ālārgha tanqīd* (書物と批評)] *Suyūn Bika* (スユム・ビケ) [論説] /*Zakī Valīdī*/7-11
- 04) *Yāsh ānā...* (若い母…) [文学] /*N. Dümāvi*/11-14
- 05) *Yāshā Zubayda yāshīm mīn* (生きよ *Zubayda*, 生きよ私) [論説] /*Shahīd Aħmadiyif*/14-17
- 06) *Hurrīyat* (自由) [論説] /*‘Abd al-Ĥamīd al-Muslimī*/17-19
- 07) *Āsh şū būlimī* (料理欄) [論説] /19

2-5号 (1915.1.1)

- 01) *Biz hayātka nīchik hāđirlanamiz* (我々は人生に対しどのように準備するのか) [論説] /*F. B. Sulaymāniya*/1-5
- 02) [*Kitāblār ham ālārgha tanqīd* (書物と批評)] *Suyūn Bika* (スユム・ビケ) [論説] /*Zakī*

Validi/5-6

- 03) Īrikim yūq (私の自由はない) [文学] /Ābrūy Naqīya/7-9
- 04) Hādirgina ānglādim (今こそ私は理解した) [論説] /S. 'Iṣmat/9-10
- 05) Kilin (花嫁) [文学] /Raḥīm Bāyazīdūf/11-12
- 06) Bālālār üynī (子どもの遊び) [論説] /Mā/12-15
- 07) Şulghan chachak (しおれた花) [文学] /M. 'Uthmān/16-19
- 08) Şūghish ham khātūnlār (戦争と婦人たち) [論説] /19-20

2-6号 (1915.1.15)

- 01) Shihāb al-Dīn al-Marjānī ḥadratlārī (Shihāb al-Dīn al-Marjānī 氏) [論説] /Y. Khalīlī/2-7
- 02) Tātār khātūn-qizlārī diqqatīna (タタールの婦女子方々ご注目を) [論説] /Fakhr al-Banāt Sulaymāniya/7-8
- 03) Marjānī haqqında kichkinaligimda yāzghān ba'ḍ nirsalarim munāsabatī ila (Marjānī について若い頃に私が書いたものに関して) [論説] /Aḥmad Zakī Validi/8-12
- 04) Yübilī kūnī (記念日) [論説] /Shahīd Aḥmadiyif/12-15
- 05) Shihāb al-Dīn al-Marjānī haqqında fikrī (Shihāb al-Dīn al-Marjānī に関する考え) [論説] /'A. M. Chaghatāy/15-19
- 06) Muḥtaram Shihāb al-Dīn ḥadrat (尊敬する Shihāb al-Dīn ḥadrat) [論説] /Māhrūy Muẓaffariya/19-20
- 07) Shihāb ḥadrat (Shihāb ḥadrat) [論説] /Sharīf Ḥusaynuf/20-23
- 08) Mavlid kūnında (生誕の日に) [詩] /Jamāl al-Dīn Yūmāyif/23-24
- 09) «Chin bilan yālghān» (「真実と嘘」) [論説] /24-26
- 10) I'lānlar: üzīna 'umrlik ibdash izlachī (広告：自分にとって生涯の仲間を探す者) [連絡] /26

2-7号 (1915.2.1)

- 01) Qizlārgha (娘たちへ) [詩] /M. Manāf/1
- 02) Zahra Khānim tūghrsindan (Zahra Khānim に関して) [論説] /Maḥbūb Jamāl Āqchūrīnā/2-3
- 03) Āngghī mīngī vaqtda bir tāvish! (分別無き時に声を!) [論説] /Kāmila Muẓaffariya/3-6
- 04) [Kitāblārgha haqqında tanqīd (書評)] Suyūn Bika (スユム・ビケ) [論説] /Zakī Validi/6-10
- 05) Qiz bālā (女子) [詩] /Mullājān Khālīqif/10
- 06) Īrkūtskī khānimlārī (イルクーツクの婦人たち) [論説] /Qiyām Yūldāshuf/10-12
- 07) Ātā, ānā va mu'allimalar (父親, 母親, 女性教師たち) [論説] /Khadīja Shammāsiya/12-14
- 08) Apiktītāsindan (エピクテトスから) [文学] /'Abd Allāh Sulaymān/14
- 09) Bālālār tarbiyasī haqqında (子どもの養育について) [論説] /F. Sulaymāniya/14-15
- 10) Trūskida Ūchāruflar yūrtında yāşālghān «mavlid kīchasī» munāsabatīla (トロイツクの Ūchāruf 家で行われた「生誕の夜」に関して) [論説] /Jamāl al-Dīn Yūmāyif/15-17
- 11) ['Ilm-i tarbiya sūzlari (教育学のことば)] Bālā üynchiqlārī (子どものおもちゃ) [論説] /'A. Khaṭṭī/18-19



- 12) *Idāraga maktūblar*（編集部への投書）〔論説〕 /19-21
- 13) *Āsh şū būlimi*（料理欄）〔論説〕 /21

2-8号（1915.2.15）

- 01) *Kūzgī chachak*（秋の花）〔文学〕 /*Fātiḥ Sayfī Qazānlī*/1-6
- 02) *Āmirīqāda khānimlār qlūbi*（アメリカの婦人たちのクラブ）〔論説〕 /*K. B.*/6-9
- 03) «*Chīgish ūrnaklarī*»（「刺繍の手本」）〔論説〕 /*Dhākira Sharaf*/9-11
- 04) *Khātūnliq irlīk tārṭīsh*（男性女性性の議論）〔論説〕 /*Hasan al-Dīn Karīmuf*/11-14
- 05) *Bāllādā*（バラード）〔詩〕 /*M. Manāf*/14-15
- 06) *Ānāsīng qabrī ūstīnda*（その母の墓の上で）〔文学〕 /*'A. Ch.*/15-16
- 07) *Şaldāt khātūnīna*（婦人兵士へ）〔詩〕 /*J. Yūmayif*/16-17
- 08) [*'Ilm-i tarbiya sūzlarī*（教育学のことば）] *Üyn ham ish*（遊びと仕事）〔論説〕 /*'A. Khaṭṭī* /17-19
- 09) *Āsh şū būlimi*（料理欄）〔論説〕 /19-20
- 10) *Yūrṭ kīraklarī*（家庭の必需品）〔論説〕 /20

2-9号（1915.3.1）

- 01) *Kūzgī chachak*（秋の花）〔文学〕 /*Fātiḥ Sayfī Qazānlī*/1-7
- 02) *Kimdan bū?*（誰からこれが？）〔論説〕 /*Maḥbūb Jamāl Āqchūrīnā*/7-9
- 03) *Āmirīqāda khānimlār qlūbi*（アメリカの婦人たちのクラブ）〔論説〕 /*K. B.*/9-12
- 04) *Bālālār tarbiyasī*（子どもの養育）〔論説〕 /*F. B. Sulaymāniya*/13-16
- 05) *Ḥurriyat*（自由）〔論説〕 /*'Abd al-Ḥamīd al-Muslimi*/16-19
- 06) *Fāṭīma Farīda Khānimning āvīlda vaqṭi*（*Fāṭīma Farīda Khānim* の村にいた時）〔論説〕 /*Marḥabā Bāṭirishīnā*/19-20

2-10号（1915.3.15）

- 01) *Khātūn*（婦人）〔詩〕 /«*Tilmāch*»/1
- 02) *Fāṭīma va āning takāmīli*（*Fāṭīma* と彼女の成長）〔文学〕 /2-6
- 03) [*Shi'r*（詩）] *Qārā khāṭiralār...*（暗い記憶…）〔詩〕 /*'A. Şan'atī*/7
- 04) *Bālālār tarbiyasī*（子どもの養育）〔論説〕 /*F. Sulaymāniya*/7-10
- 05) [無題：投書]〔論説〕 /10-14
- 06) [*Shi'r*（詩）] *Āpāma*（我が姉へ）〔詩〕 /*M. Abrār Sa'īdī*/15
- 07) *Yūrṭ kütü türīnda*（家庭経営について）〔論説〕 /15-17
- 08) *Khātūn-qiz mas'alasi munāsabatīla*（婦女子の問題に関して）〔論説〕 /*Haqq*/17-20
- 09) *Idāraga maktūblar*（編集部への投書）〔論説〕 /20-21

2-11号（1915.4.1）

- 01) *Fāṭīma va āning takāmīli*（*Fāṭīma* と彼女の成長）〔文学〕 /1-6
- 02) *Qazān tātārlārīning qārā sūzlarīna 'a'id yāngā atharlar*（カザン・タタールの民俗文学に関する新しい著作）〔論説〕 /*Aḥmad Zakī Valīdī*/6-12
- 03) *...şūng*（…後）〔詩〕 /*B. Mirzānuf*/12

- 04) Turkistānda (トルキスタンで) [論説] /K. Muẓaffarīya/13-17
- 05) Ankama (我が母へ) [詩] /M. Abrār Sa'īdī/17
- 06) Madanī ishlarimiz (文明的な仕事) [論説] /Karīm Musharrafuf/18-19
- 07) Tabrīk (祝辞) [詩] /Ruqayya Ibrāhīmuvā/19-20
- 08) Maktūblar (投書) [論説] /20

## 2-12号 (1915.4.15)

- 01) 'Āshiq (恋人) [詩] /'A. Ṣan'atī/1
- 02) Fāṭima va āning takāmili (Fāṭima と彼女の成長) [文学] /2-9
- 03) Qazān tātārlārining qārā sūzlarina 'ā'id yāngā atharlar (カザン・タタールの民俗文学に関する新しい著作) [論説] /Aḥmad Zakī Valīdī/10-14
- 04) Būldiqsizlighibiz (我々の無能さ) [論説] /F. B. Sulaymāniya/14-18
- 05) [Shi'r (詩)] Maḥabbat ichūn (愛のために) [詩] /J. Yūmayif/18
- 06) Yūrt kütü türinda (家庭経営について) [論説] /Ghāvṣā Fakhṛ al-Dīnuf/18-20
- 07) Muḥtaram mu'allimalar diqqatına (尊敬する女性教師方々ご注目を) [論説] /'Abd al-Ghaffār Luqmānī/20-21

## 2-13号 (1915.5.1)

- 01) Gulistān (花園) [詩] /V. J./1
- 02) Sū' isti'māl itmadim (私は悪用しなかった) [文学] /Sh. Aḥmadiyif/2-5
- 03) Türkistānda tātār khānimlārī (トルキスタンでのタタール婦人たち) [文学] /Kāmila Muẓaffarīya/6-8
- 04) [Shi'r (詩)] Ānā irkasī (母のお気に入り) [詩] /'A. Ṣan'atī/8
- 05) Qazān tātārlārining qārā sūzlarina 'ā'id yāngā atharlar (カザン・タタールの民俗文学に関する新しい著作) [論説] /Aḥmad Zakī Valīdī/9-12
- 06) Hifẓ al-ṣiḥḥat (保健) [論説] /'A. Fakhṛī/12-13
- 07) [Shi'r (詩)] Tūl khātūngha (未亡人に) [詩] /M. Abrār Sa'īdī/13-14
- 08) Ālmās ham qān (りんごと血) [文学] /Sh. Ḥusaynuf/14-17
- 09) Khātūnlarning ijtimā'i vazīfasī (婦人の社会的責務) [論説] /'A. Ḥ./17-19
- 10) Idāraga maktūblar (編集部への投書) [論説] /19
- 11) Truyskīda (トロイスクで) [論説] /M. Ṣ./19-20
- 12) «Maṭbū'āt tīrasında yūrugān makhdūmga» (「出版物の周辺をめぐる者へ」) [論説] /'A. Ch./20-21
- 13) Khānimlar ichūn jāylik darslar (婦人たちのための夏季の学課) [論説] /21

## 2-14, 15号 (1915.5.18)

- 01) Sū' isti'māl itmadim (私は悪用しなかった) [文学] /Sh. Aḥmadiyif/1-5
- 02) [Shi'r (詩)] «Āvirū tūl khātūnning du'āsī» (「病気の未亡人の祈り」) [詩] /Imām al-Dīn Shammāsī/5
- 03) Qazān tātārlārining qārā sūzlarina 'ā'id yāngā atharlar (カザン・タタールの民俗文学に関する新しい著作) [論説] /Aḥmad Zakī Valīdī/6-9

- 04) Düstlärima (我が友へ) [詩] /«Kükib»/9
- 05) Qizlär maktabining prügürämäsina da'ir (女子の初等学校のカリキュラムに関して) [論説] /9-12
- 06) Maḥabbat (愛) [詩] /‘A. Şan‘atī/12-13
- 07) Maktablarimiz (我々の初等学校) [論説] /F. B. Sulaymāniya/13-14
- 08) Ālmās ham qān (りんごと血) [文学] /Sh. Ḥusaynuf/14-16
- 09) Şūghishda balā maḥabbatī (戦争での子どもの愛) [詩] /M. Manāf/17
- 10) Şulghān chachak (しおれた花) [文学] /M. ‘Uthmān/17-23
- 11) Ḥifz al-şihḥat (保健) [論説] /‘A. Fakhri/23-24
- 12) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /25-26
- 13) Maktūblar (投書) [論説] /26-28
- 14) Adabiyāt kīchasī (文学の夕べ) [論説] /28-29
- 15) Imtiḥān (試験) [論説] /F. B. Sulaymāniya/29
- 16) Samarqand khātūn qizlārī ‘Ālamindan (サマルカンドの婦女子の世界から) [論説] /‘Abd al-Ḥamid ‘Azamatī/30-33
- 17) Āsh şū bülīmī (料理欄) [論説] /33

2-16, 17号 (1915.6.25)

- 01) Shi‘r (詩) [詩] /N. Dümāvi/1
- 02) Sü‘ isti‘māl itmadim (私は悪用しなかった) [文学] /Sh. Aḥmadiyif/2-6
- 03) «Şāghinū» (「淋しさ」) [詩] /M. Manāf/6-7
- 04) Şulghān chachak (しおれた花) [文学] /M. ‘Uthmān/7-10
- 05) Ūchām kükga (私は飛ぶ、空へ) [詩] /V. J./10
- 06) Siyāhat khātirālārī (旅行の思い出) [論説] /S. ‘Işmat/11-12
- 07) Īrka qiz (わがまま娘) [文学] /Faydi/12-15
- 08) [Shi‘r (詩)] Qūrḡinich kūn... (おそろしい日…) [詩] /‘A. Biḡī/15
- 09) Qāzāq ‘iyällārining ḥālī (カザクの家族の状況) [論説] /Dāmītkan Īrjāniya/16-17
- 10) Muftī ḥadratning vafātī munāsabatī ila (ムフティ-猯下のご逝去に関して) [論説] /17-19
- 11) Ḥājī Tarkhāndaghī ta‘aththrātim (ハジ・タルハンでの私の悲しみ) [文学] /‘Alā’ al-Dīn Jalālī/19-20
- 12) Ḥifz al-şihḥat (保健) [論説] /‘A. Fakhri/20-21
- 13) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /22-23
- 14) Fātiḥa Khānima javāb (Fātiḥa Khānimへの返答) [論説] /F. B. Sulaymāniya/23-25
- 15) Vaḥshī «khulfa»ga raddiya (無教養な「嘘」への反論) [論説] /25-27
- 16) Fā’idalī kīngāshlar (有益な忠告) [論説] /28

2-18号 (1915.7.15)

- 01) Khātūnlār maşjidda... (婦人たちがモスクで…) [論説] /Aḥmad Tāj al-Dīn/1-4
- 02) Şulghān chachak (しおれた花) [文学] /M. ‘Uthmān/4-8
- 03) Şūngghī zārim (最後の私の嘆き) [詩] /B. Mirzānuf/9
- 04) Qāriş fajjī‘asī (痛ましい不幸) [論説] /Fātiḥ Bakr/10-12

- 05) Yūqliq dunyāsining qārānghūlighindan kīlgān qūnāqlār (無の世界の闇から来た訪問者) [文学] /12-15  
 06) Tanqīdmī? Taqdīrmī? (批判か? 評価か?) [論説] /Kamāl Nūghāy/15-16  
 07) Siyāhat khātiralarī (旅行の思い出) [論説] /S. 'Ishmat/17-20

## 2-20号 (1915.8.15)

- 01) [Shi'r (詩)] Bahā? (価値?) [詩] /N. Dūmāvī/1  
 02) Ishlarga kirak (働かねばならない) [論説] /F. B. Sulaymāniya/2-3  
 03) Šulghān chachak (しおれた花) [文学] /M. 'Uthmān/3-6  
 04) «Qābān»da («カバン」で) [詩] /'A. Šan'atī/6-7  
 05) Mīn sinī šāghinām (私はあなたを恋しがる) [文学] /'A. Bigī/8-10  
 06) 'Āliya ('Āliya) [文学] /Q. Yūldāshuf/10-12  
 07) Isvichda ibtidā'i maktablarning prūghrāmmāsī (スウェーデンでの初等学校のカリキュラム) [論説] /'Abd al-Hamīd al-Muslimī/12-14  
 08) Qūl ishlari (手芸) [論説] /'Ammī/15-17  
 09) Qizlār maktabining prūgrāmmāsina dā'ir (女子の初等学校のカリキュラムに関して) [論説] /Fāṭima Badrīya/18

## 2-21号 (1915.9.1)

- 01) Ṭabr'at bāqchasī (自然の庭) [詩] /B. Mīrzānuf/1-2  
 02) Ūqūtū bābinda tūb mas'alasī (教えることに関する基本的問題) [論説] /'A. 'Ishmatī/2-3  
 03) Ṭabr'at qūchāghinda (自然の抱擁で) [文学] /Raḥīm Bāyizīd/4-7  
 04) [Shi'r (詩)] Bakhtsiz qiz, ṭurmish ṭirnāghinda (不幸な娘が生活の爪で) [詩] /'A. Šan'atī/7-8  
 05) Bir mazlūmaning ṭurmishindan bir yāfrāq (ある抑圧された者の生活から、一枚の葉) [文学] /Z. Hūbbiya/8-9  
 06) Kīnimātūghrāflārgħa yāsh bālālārni ālūb bārū ḥaqqinda bir niḥa sūz (映画に幼い子どもを連れていくことに関する若干のことば) [論説] /Šaj/9-11  
 07) 'Āliya ('Āliya) [文学] /Q. Yūldāshuf/11-12  
 08) Hījāb (ヒジャーブ) [論説] /'A. 'Ażamat/12-15  
 09) Ūfāgha siyāhat (ウファへの旅行) [論説] /Māhrūy Muẓaffariya/15-17  
 10) Isvich khātūnlārī (スウェーデンの婦人たち) [論説] /17-19  
 11) Āvil qizlārimiz (村の女子) [論説] /Lapayskī/20

## 2-22号 (1915.9.20)

- 01) Ankām qabrī yāninda (母の墓前で) [詩] /B. Mīrzānuf/1-2  
 02) Asirlik (捕らわれ) [文学] /F. B. Sulaymāniya/2-5  
 03) Gānārār (稿料) [文学] /B./5-13  
 04) [Shi'r (詩)] Ṭūtāshgha (娘に) [詩] /'A. Šan'atī/13  
 05) Mīnim tāriḥim (我が歴史) [文学] /Ḥaqq/14-18  
 06) Pītrāghradda khātūn-qiz dunyāsī (ペトログラードでの婦女子の世界) [論説] /Zakiya

‘Ābidiya/18-19

- 07) Ūfāgha siyāhat (ウファへの旅行)〔論説〕/Māhrüy Muzaffariya/19
- 08)〔無題：広告〕〔論説〕/20

2-23号 (1915.10.4)

- 01) [Shi‘r (詩)] Bayram būlagī (祝祭の贈り物)〔詩〕/M. Abrār Sa‘īdī/1
- 02) ‘Īd-i sharīf mubārak būsūn (祝祭のお祝いを申し上げます)〔論説〕/F. B. Sulaymāniya /2-3
- 03) Dunyāning türli pūchmāghinda jighrāfi (世界の様々な場所の地理)〔論説〕/Ḥabīb Allāh Zaynī/4-6
- 04) ‘Ā‘ila, tarbiya va ta‘lim (家族，養育と教育)〔論説〕/‘Ammī/7-10
- 05) Mīnim kūngilim (我が心)〔詩〕/‘Ālimjān Āqchūrīn/10-11
- 06) Mīnim tāriḫim (我が歴史)〔文学〕/Ḥaqq/11-15
- 07) Siyāhat khāṭiralārī (旅行の思い出)〔論説〕/Bāghbistān/15-18
- 08) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育)〔論説〕/18-20
- 09) Fa‘īdalī kingāshlar (有益な忠告)〔論説〕/20

2-24号 (1915.10.17)

- 01) Īkī mūng (二つの悲しみ)〔詩〕/‘Ālimjān Āqchūrīn/1-2
- 02) Yāv rūpālār nazarında ‘ā‘ilalarning ahammiyatī (ヨーロッパ人の見解における家族の重要性)〔論説〕/‘Ammī/3-5
- 03) Trūyskīda dār al-mu‘allimāt (トロイスクの女子師範学校)〔論説〕/Marfū‘a Ṭūqtāruvā/5-10
- 04) Siyāhat khāṭiralārī (旅行の思い出)〔論説〕/Bāghbistān/10-14
- 05) ‘Āshiq (恋人)〔詩〕/B. Mīrzānuf/14
- 06) Ānkīta, qizlārni nīchik tarbiya qilūrgha kīrak? (アンケート，女子をどのように教育せねばならないか?)〔論説〕/Idāra/15-16
- 07) Ḥifz al-ṣiḥḥat ham ṭibb būlimī (保健と医学欄)〔論説〕/16-19
- 08) Bālālār nīchik āshṭūrgha (子どもにどのように食べさせるか)〔論説〕/19-21

3-1号 (1915.11.5)

- 01) Mazlūma zārī (虐げられし者の訴え)〔詩〕/B. Mīrzānuf/1-2
- 02) Mu‘allimalikda (教職で)〔文学〕/Fāṭiḥ Bakr/2-6
- 03) ‘Ā‘ila ṭūghrsında prāfisūr Būkharning mulāḥizasī (家族に関する Būkhār 教授の考察)〔論説〕/‘Ammī/6-9
- 04) Qāzāchī ham bāshqurd ārasında siyāhat (カザチとバシコルトの間の旅行)〔論説〕/Bāghbistān/9-14
- 05) Ūrīnbūrghda khātūnlār (オレンブルグの婦人たち)〔論説〕/‘Abd al-Ḥamīd al-Muslimī /14-17
- 06) Yāv rūpāda īng baktli khātūnlār (ヨーロッパで最もめぐまれた婦人たち)〔論説〕/17-18
- 07) Ḥifz al-ṣiḥḥat (保健)〔論説〕/19-20

## 3-2号 (1915.11.15)

- 01) Sāghinū (焦がれる) [詩] /B. Mirzānuf/21-23
- 02) ‘Ā’ila ḥāllarī (家族の諸状況) [論説] /Bāghbistān/23-26
- 03) Mu‘allimalikda (教職で) [文学] /Fātiḥ Bakr/27-30
- 04) Ānkītqa javāb (アンケートへの回答) [論説] /30-33
- 05) Buyūk fāji‘a (大きな悲劇) [論説] /F. B. Sulaymāniya/34-36
- 06) ‘Iffat Tūtāsh ḥaqqinda (‘Iffat Tūtāsh に関して) [論説] /S. ‘Iṣmat/36-38
- 07) [Shi‘r (詩)] Qārā kūchlar (黒い力) [詩] /M. Abrār Sa‘īdi/38
- 08) Tātār ūqītūchilārīna yārdim jam‘iyatī (タタールの教師たちに対する援助協会) [論説] / Gul Munavvar Nūghāy/39
- 09) Idāra-i baytiya ḥaqqinda bir ūtirish (家庭経営に関する議) [論説] /40

## 3-3号 (1915.12.3)

- 01) Gūl bāqchasinda (花園で) [詩] /B. Mirzānuf/41-42
- 02) Mashhūra khātūnlārdan Āmina bint Vahab (著名な婦人たちのうちから, Āmina bint Vahab) [論説] /F. B. Sulaymāniya/42-44
- 03) Ānkītqa javāb (アンケートへの回答) [論説] /45-48
- 04) Āvil mu‘allimasining tūrmishī (村の女性教師の生活) [詩] /Ishāq Bāhūtuf/49-50
- 05) Qazāndaghī musulmān qāchāqlārgħa yārdam kāmītīti va ānda ishlauchī khātūn qizlār (カザンにいるムスリムの避難者たちのための援助委員会とそこで働く婦女子) [論説] /50-51
- 06) Fāṭima Farīda Khānim nāmīna qūrīlghān maktabka nīgiz qūrū marāsīmī (Fāṭima Farīda Khānim の名にちなんで建設される初等学校の定礎の式典) [論説] /52-56
- 07) Ānālārning ‘ā’ila ichindagī va bālālārī qāshindaghī ba‘d ḥāllarī (母親が家族の中におり子どもに側にいることにおける若干の諸状況) [論説] /57-59
- 08) Marḥūma tūghānim Nafisa Bika rūḥīna (我が親族故 Nafisa Bika の御魂に) [詩] / Ismā’il ‘Ābidi/60

## 3-4号 (1915.12.15)

- 01) Birinchī ādūmlār (最初の一步) [詩] /Z. R. Līya/61
- 02) Kharāba (廢墟) [詩] /N. Dūmārī/62
- 03) Bir ikī sūz (若干のことば) [論説] /F. B. Sulaymāniya/63
- 04) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] / (F. B. Sulaymāniya) /63-67
- 05) ‘Ā’ila ḥāllarī (家族の諸状況) [論説] /Bāghbistān/68-70
- 06) Ānkītqa javāb (アンケートへの回答) [論説] /70-73
- 07) Ūylār (考え) [詩] /Farīda Ibrāhīmuf/73-74
- 08) Pīnzā gūbirnāsinda khātūnlār (ペンザ県の婦人たち) [論説] /Karīm Musharrafuf/74-76
- 09) [Shi‘r (詩)] [無題] [詩] /J. Yūmayif/76
- 10) Dunyāning türli yaqlārinda khātūn-qizi ḥālī (世界の様々な地方の婦女子の状況) [論説] /77-79
- 11) ...ga (…へ) [詩] /Naqī Īsanbat/79
- 12) Bukhārāda maktabka ijāzat (ブハラでの初等学校への許可) [論説] /Zaynab Sa‘diya/79-80

3-5号（1916.1.1）

- 01) Mavlid ҳurmatina（御生誕に）〔詩〕/Karim Musharrafuf/81-82
- 02) Rüs khätünlärining ҳarakatı（ロシア婦人たちの活動）〔論説〕/Y. Khalili/82-85
- 03) Quraysh qizi（Qurayshの娘）〔文学〕/F. B. Sulaymāniya/85-91
- 04) ‘Ā’ila ҳällarī（家族の諸状況）〔論説〕/Bāghbistān/91-95
- 05) [Shi’r（詩）] Mavlid tānginda（生誕の暁に）〔詩〕/M. Abrār Sa’idi/95
- 06) Qazāndaghī «kutubkhāna-i islāmīya» va khätün-qizlār（カザンにある「イスラーム図書館」と婦女子）〔論説〕/Zakiya/96-98
- 07) İtaliyada khätün-qiz（イタリアの婦女子）〔論説〕/98-99

3-6号（1916.1.24）

- 01) 〔無題：祝辞〕〔論説〕/101
- 02) [Shi’r（詩）] Maṭbū‘āt-i mavqūta（定期刊行物）〔詩〕/M. Abrār Sa’idi/102
- 03) Maṭbū‘ātning ūn ili（出版物の十年）〔論説〕/Y. Khalili/103-105
- 04) Maṭbū‘āt-i mavqūtamizning 10 ili munāsabatīla（我々の定期刊行物の10年に関して）〔論説〕/A. Baṭṭāl/106-109
- 05) İdil büyi maṭbū‘ātī（ヴォルガ流域の出版物）〔論説〕/F. B. Sulaymāniya/109-111
- 06) Ūn il（十年）〔論説〕/Shahīd Aḥmadīyif/111-114
- 07) Maṭbū‘āt ham khätün-qiz duniyasinda ūzgarish（出版物と婦女子の世界における変化）〔論説〕/Fātiḥ Bakr/114-117
- 08) ‘İffat Ṭütāshgha（‘İffat Ṭütāshへ）〔論説〕/Sharīfa Ṭimurbāy/117-118
- 09) 〔無題：アンケート〕〔論説〕/119

3-7号（1916.2.1）

- 01) [Shi’r（詩）] Tūshimda（我が夢で）〔詩〕/Gh. Şan‘atī/121
- 02) Quraysh qizi（Qurayshの娘）〔文学〕/F. B. Sulaymāniya/122-125
- 03) Ulgān āpām khāṭiralārī（亡くなった我が姉の思い出）〔文学〕/Najib ‘Aşrī/126-128
- 04) ‘Ā’ila ҳällarī（家族の諸状況）〔論説〕/Bāghbistān/128-131
- 05) Ānkītqa javāb（アンケートへの回答）〔論説〕/131-134
- 06) [Shi’r（詩）] Kūnlik daftarimdan（我が日記から）〔詩〕/J. Yūmāyif/134
- 07) Maktablar, mu’allima va mu’allimlarimiz ҳālından（初等学校および男女教師の状況について）〔論説〕/Karim Musharrafuf/136-137
- 08) «Ūn illiq maṭbū‘ātda khätün qiz» maqālasi munāsabatīla（「十年間の出版物における婦女子」論説に関して）〔論説〕/137-139

3-8号（1916.2.15）

- 01) [Shi’r（詩）] Ṭūghānima!（我が親族へ！）〔詩〕/‘A. Bigī Qazānli/141
- 02) Quraysh qizi（Qurayshの娘）〔文学〕/F. B. Sulaymāniya/142-145
- 03) Ulgān āpām khāṭiralārī（亡くなった我が姉の思い出）〔文学〕/Najib ‘Aşrī/145-148
- 04) İzdī!（殴った！）〔詩〕/«Aḥsanīya»/148
- 05) ‘Ā’ila ҳällarī（家族の諸状況）〔論説〕/Bāghbistān/149-152

- 06) Āstrakhānda qiz bālālārgha makhşüş mavlid (アストラハンの女子のための生誕祭) [論説] /Jānbik/152-153  
 07) [Shi'r (詩)] [無題] [詩] /'A. Bigī Qazānlī/153  
 (欠頁)

## 3-9号 (1916.3.1)

- 01) [Shi'r (詩)] Ūfā idilina (ウファ河に) [詩] /N. Dūmāvī/157  
 02) Ulgān āpām khātiralarī (亡くなった我が姉の思い出) [文学] /Najib 'Asrī/158-162  
 03) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/162-165  
 04) Şātilghān qiz (売られた娘) [詩] /Jahān Amīriya/166  
 05) Muhtarama Fāṭima Farīda Khānim haqqında şabiliq khātiratim (尊敬する Fāṭima Farīda Khānim に関する私の幼い頃の思い出) [論説] /Khadīja Dūnāyivā/166-169  
 06) Fāṭima Farīda Khānimgha ikī il (Fāṭima Farīda Khānim への二年) [論説] /Karīma Īshmuḥammaduvā/169-170  
 07) Ḥakīmlar sūzi (賢者たちの言葉) [論説] /171  
 08) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /171-172

## 3-10号 (1916.3.18)

- 01) [Shi'r (詩)] Kūl alī! (見よ、今!) [詩] /Īsanbat/173  
 02) Bāqir kūz «Āzād khātūndan» (赤銅の目「自由な婦人」から) [文学] /Qazānlī Fātiḥ Sayfi/174-176  
 03) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/177-181  
 04) Yāshligim (我が青春時代) [詩] /Fāṭima Jābūsuvā/182  
 05) Īr bila khātūnning 'ā'iladaghī mushtarak vazīfalārī (夫と妻の家庭内での共通の責務) [論説] /Bāghbistān/182-184  
 06) Kārmīn Sīlvā (カルメン・シルヴァ) [論説] /B./185-186  
 07) ...ga (…へ) [詩] /Kūkib/187  
 08) Vaqt ghazitasining ūn ili (ワクト紙の十年) [論説] /Idāra/187  
 09) Idāradan javāblār (編集部からの返答) [連絡] /188

## 3-11号 (1916.4.1)

- 01) [Shi'r (詩)] Marḥūm shā'irga (亡き詩人へ) [詩] /M. Abrār Sa'īdī/189-190  
 02) Bāqir kūz «Āzād khātūndan» (赤銅の目「自由な婦人」から) [文学] /Fātiḥ Sayfi (Qazānlī) /190-193  
 03) Īr bilan khātūnning 'ā'iladaghī mushtarak vazīfalārī (夫と妻の家庭内での共通の責務) [論説] /Bāghbistān/193-195  
 04) Āghingha qarshī...! (流れに逆らって…!) [文学] /Āqā/195-198  
 05) Tūrmish ūbqūninda (生活の深みで) [詩] /Īsanbat/198  
 06) Ṭabrī yūllār birla divalānū (自然な方法での治療) [論説] /Aḥmad Ḥabībī/199-201  
 07) Ūqitūchilār tīrasinda (教師たちの周囲で) [論説] /Iskandarī/201-203  
 08) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /203-204



3-12号（1916.4.16）

- 01) Talaf illār (滅びの年々) [詩] /B. Mīrzānuf/205-206
- 02) Quraysh qizī (Qurayshの娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/206-208
- 03) Āghimgha qārshī (流れに逆らって) [文学] /Āqā/209-211
- 04) Vazīfalār (責務) [論説] /Bāghbistān/212-215
- 05) [Shi'r (詩)] Shafaqat tūtāshlārīna (やさしい令嬢方々に) [詩] /Gh. Şan'atī/215
- 06) Ānālār va bālālār tarbiyasī haqqında (母親と子どもの養育に関して) [論説] /A'mad 'Alī Halimī/216-219
- 07) 'Iffat Tūtāshgha javāb ('Iffat Tūtāsh への返答) [論説] /219-220

3-13号（1916.5.1）

- 01) [Shi'r (詩)] Yūlda (道で) [詩] /N. Dūmāvi/221-222
- 02) Inglitrada khātūnlār harakatining tārīkhī (イギリスにおける婦人運動の歴史) [論説] /222-225
- 03) Khātūn qizlār isiyizdi (婦女子の大会) [論説] /'Işmatī/225-227
- 04) Ūfā khāṭiralārī (ウファの思い出) [論説] /F. B. Sulaymāniya/227-228
- 05) Tūrmishim (我が生活) [詩] /Karīm Amīri/228
- 06) Āghimgha qārshī (流れに逆らって) [文学] /Āqā/229-331
- 07) Ṭabīri yūllār bilan divālānū (自然な方法での治療) [論説] /Aḥmad Habībi/232-233
- 08) Mu'allimalar üçhün qūrslār (女性教師のための課程) [論説] /233-234
- 09) "Kūkhna yānında bāqcha" ("台所の側にある菜園") [論説] /Mīrsayyid Qarīm/234-236
- 10) Yir yūzında būlghān khātūnlārning şāni (地球上にいる婦人の数) [論説] /236

3-14号（1916.5.15）

- 01) [Adabiyāt qismī (文学の部)] Umīd yūldizīna (希望の星に) [詩] /B. Mīrzānuf/237
- 02) «Āzāda khātūn» («自由な婦人») [文学] /Fātiḥ Sayfī Qazānlī/238-241
- 03) [Tārīkh qismī (歴史の部)] Inglitrada khātūnlār harakatining tārīkhī (イギリスにおける婦人運動の歴史) [論説] /Y. Khalīli/242-245
- 04) Şāyrā! (歌え!) [詩] /İsanbat/245
- 05) [Tarbiya qismī (教育の部)] Bizning bürchimiz (我々の義務) [論説] /Amīr 'Alī Ibrāhimuf/246-247
- 06) Bālālār nilikdan yālghānilār (子どもたちはなぜ嘘をつくのか) [論説] /247-249
- 07) Qizlārimiznī tarbiya va ta'līm ishī (我らが女子を養育し教育する仕事) [論説] /Karīm Musharrafuf/249-251
- 08) Fāṭima Khābūsuvā javābī (Fāṭima Khābūsuvāの返答) [論説] /Fāṭima Khābūsuvā/251-252
- 09) Zilāylūkga (Zilāylūk へ) [詩] /Zukām/252

3-15, 16号（1916.6.15）

- 01) Hādirgī vaqtqa bir qarāsh (現在に対するある観点) [論説] /Y. Khalīli/253-257
- 02) [Adabiyāt qismī (文学の部)] Tūtqin bilbilim (囚われの我が小夜鳴き鳥) [詩] /B.

Mirzānuf/257-258

- 03) «Āzād khātūn» (「自由な婦人」) [文学] /Fātiḥ Sayfī Qazānī/258-261
- 04) Quraysh qizī (Qurayshの娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/262-264
- 05) Kūzlarī (瞳) [詩] /Īsanbat/265
- 06) [Tārīkh qismī (歴史の部)] Īr-khātūn mas'alasina tūbdanrak qārāsh (夫と妻の問題に対するより根本的な観点) [論説] /'A. Y./265-268
- 07) Ilizavitā Blūkūl (エリザベス・ブラックウェル) [論説] /268-271
- 08) [Tarbiya qismī (教育の部)] Balānī tarbiya itū (子どもを養育すること) [論説] /Bāghbistān/272-283
- 09) Bākūdan tūrkistāngħa (バクーからトルキスタンへ) [論説] /F. Sulṭānbik/272-283
- 10) «Tabrī yūllār bilan divalānū» (「自然な方法での治療」) [論説] /Aḥmad Ḥabībī/275-281
- 11) Frūktālārdan vārīniya (果物のジャム) [論説] /281-283
- 12) [無題: 編集部から投稿者への返答] [連絡] /284

3-17号 (1916.7.15)

- 01) [Adabiyāt qismī (文学の部)] Yāzighī tāngda (春の夜明けに) [詩] /Īsanbat/285
- 02) Şungħhī minūtlār (最後の瞬間) [文学] /M. Aḥmar/286-290
- 03) [Tārīkh qismī (歴史の部)] Īr-khātūn mas'alasina tūbdanrak qārāsh (夫と妻の問題に対するより根本的な観点) [論説] /'A. Y./290-293
- 04) [Tarbiya qismī (教育の部)] 'Ā'ila va āning vazīfalarī (家族とその責務) [論説] /Raḥīmjan Ātnābāyif/293-299
- 05) [Filiyatūn (戯評)] Bakūdan tūrkistāngħa (バクーからトルキスタンへ) [論説] /F. Sulṭānbik/294-298
- 06) Bālālār tarbiyasī (子どもの養育) [論説] /299-300
- 07) Marḥūma mu'allima Kāmila Khānim Muẓaffariya (女性教師故Kāmila Khānim Muẓaffariya) [論説] /Idāra/300

3-18号 (1916.7.18)

- 01) Khātūnlār vazīfasī (婦人たちの責務) [論説] /Sh. A./301-304
- 02) [Adabiyāt qismī (文学の部)] Şirdaryā būyinda (シルダリア河畔で) [詩] /M. Manāf/304-306
- 03) Quraysh qizī (Qurayshの娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/306-309
- 04) [Tārīkh qismī (歴史の部)] Frānsiyada khātūnlār üyghānūvining tārīkhī (フランスにおける婦人たちの覚醒の歴史) [論説] /310-315
- 05) [Filiyatūn (戯評)] Ūfāda mu'allimalar qūrsining imtiḥānī (ウファでの女性教師の課程の試験) [論説] /Qiyām Yūldāshuf/310-313
- 06) Marḥūma Kāmila Khānim Muẓaffariya (故Kāmila Khānim Muẓaffariya) [論説] /316

3-19号 (1916.8.1)

- 01) [Adabiyāt qismī (文学の部)] [Shi'r (詩)] Chachak (花) [詩] /J. Yūmayif/317
- 02) Dunyā yārātīlgħanda (世界が創造されることで) [文学] /B. Mirzānuf/318-319

- 03) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/320-322
- 04) Pārākhūdda (汽船で) [詩] /Sūnchalay/322
- 05) [Tāriḫ qismī (歴史の部)] Millī tāriḫī (民族的歴史) [論説] /323-324
- 06) [Tarbiya qismī (教育)] ‘Ā’ilaning niqlighi nī birla? (家族の堅固さは何によって?) [論説] /Raḥīm Ātnābāyif/324-331
- 07) [Filiyatūn (戯評)] «Ālā ṭau» büyinda (「アラ・タウ」麓で) [論説] /F. Sultānbik/325-330
- 08) [Maktūblar (投書)] [論説] /331-332

3-20, 21号 (1916.9.1)

- 01) Şūghish ham khātūnlār (戦争と婦人たち) [論説] /333-337
- 02) [Adabiyāt qismī (文学の部)] Shi’r (詩) [詩] /Maḥmūd Badīli/337
- 03) Üchütıl ham yūghālghān idiyāl (教師と失われた理想) [文学] /Burhān Manşūr/337-342
- 04) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/342-345
- 05) Ūl (彼女) [詩] /K. Amīri/345-346
- 06) [Tāriḫ qismī (歴史の部)] Ūlūn Bika (Ūlūn Bika) [論説] /Sh. A./346-348
- 07) Pitrāghrad Lāzaritindan (ペトログラードの病院から) [論説] /Ḥalim ‘Umaruf/348-355
- 08) [Filiyatūn (戯評)] Bakūdan türkistāngħa (バクーからトルキスタンへ) [論説] /F. Sultānbik/349-354
- 09) [Khabarlar qismī (諸情報の部)] [論説] /355-356

3-22号 (1916.9.24)

- 01) Kıl ırkam! (来い，愛しい人よ!) [詩] /M. Sa’idī/357
- 02) Āzād khātūn (自由な婦人) [文学] /Fātiḥ Sayfī Qazānli/357-362
- 03) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/363-366
- 04) [Filiyatūn (戯評)] Şū qizī (水の娘) [文学] /M. D./366-372
- 05) ...ga (…へ) [詩] /Ilhām/367
- 06) [Tāriḫ qismī (歴史の部)] Birtāfūn-Zūtnīr (ベルタ・フォン・ズットナー) [論説] /368-371
- 07) Marḥūma Sāra ‘Işmat (故 Sāra ‘Işmat) [論説] /Qāyghirūchi/371-372

3-23号 (1916.10.19)

- 01) Qir abiyī (野のおばあさん) [文学] /M. Sa’idī/373-377
- 02) Şūfya Bika ham ānāsī (Şūfya Bika とその母) [論説] /Sh. A./377-381
- 03) [Filiyatūn (戯評)] Şū qizī (水の娘) [文学] /M. D./379-387
- 04) Dunyāning türli pūchmāghinda khātūn-qiz (世界の様々な片隅での婦女子) [論説] /H. Zaynī/382-386
- 05) Ūfāda kūrğanlarim (ウファで私が見たもの) [論説] /F. B. Sulaymāniya/387-388

3-24号 (1916.10.24)

- 01) Ṭürmish nī bilan mas’ūd? (生活は何によって幸福か?) [論説] /Y. Khalīli/389-391

- 02) Dūstīma (我が友へ) [詩] /B. Mīrzānuf/392
- 03) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/392-394
- 04) [Tarbiya qismī (教育の部)] 'Ā'ila va āning vazīfasī (家族とその責務) [論説] /Raḥīmjan Ātnābāyif/395-403
- 05) [Filiyatūn (戯評)] Šū qizī (水の娘) [文学] /M. D./398-403
- 06) 3 milyardliq yāngā zāyūm (30億の新しい国債) [論説] /404

## 4-1号 (1916.11.20)

- 01) Qizlārgha millī gīmnāziya (女子のための民族的なギムナジア) [論説] /Y. Khalīli/1-5
- 02) Qiz bālā (女の子) [詩] /Īsanbat/6
- 03) Tātār khātūn-qizlārī (タタールの婦女子) [論説] /'Alī Aṣghar Ghafūruf/7-10
- 04) Tiflis khātirasī (チフリスの思い出) [論説] /Šābirjan Ḥajī 'Arabshāh Ūghlī 'Abbāsuf Ayāgūzi/11-15
- 05) [Filiyatūn (戯評)] Šū qizī (水の娘) [文学] /M. D./11-14
- 06) Muslimalar gīmnāziyasī (ムスリマたちのギムナジア) [論説] /F. B. Sulaymāniya/16

## 4-2号 (1916.11.20)

- 01) Ūqitūchū qiz (教師である娘) [詩] /Īsanbat/17-18
- 02) Shahrda (街で) [文学] /Viqāṣ/19
- 03) [Tāriḥ qismī (歴史の部)] Sūyum Bika (Sūyum Bika) [論説] /Sh. A./20-21
- 04) Javāb kūtām (私は返事を待つ) [詩] /Fiyilām/22
- 05) Sūyiklīma bāghishlīm (我が恋人に捧げる) [詩] /Ş. Ḥajī 'Arabshāh Ūghlī Ayāgūzi/
- 06) Tiflis khātirasī (チフリスの思い出) [論説] /Šābirjan Ayāgūzi/23-24
- 07) [Filiyatūn (戯評)] Šū qizī (水の娘) [文学] /M. D./24-29
- 08) 'Ā'ila va āning vazīfalārī (家族とその責務) [論説] /Raḥīmjan Ātnābāyif/27-30
- 09) Khātira (思い出) [文学] /Ş. J./31
- 10) Gīrmāniyaning islāmgha ikī yāqlī qarāshī (ドイツのイスラームに対する二通りの観点) [論説] /32

## 4-3, 4号 (1916.12.15)

- 01) Īl yūldizī (祖国の星) [詩] /Īsanbat/33
- 02) Quraysh qizī (Quraysh の娘) [文学] /F. B. Sulaymāniya/34-37
- 03) Vaṭan yūlinda, Nāpālyūnning pūlshālī khātūnī (祖国のために、ナポレオンのポーランド人夫人) [論説] /38-41
- 04) Yāndirilghān khatt (燃された手紙) [詩] /J. Yūmāyif/41-42
- 05) [Tāriḥ qismī (歴史の部)] Sūyum Bika (Sūyum Bika) [論説] /Sh. A./43-46
- 06) Yatīma (孤児) [詩] /Dhī al-Nūr 'Īsā/46
- 07) Ḥāllarimiz bīk āchiniqlī (我々の状況は非常に悲しい) [論説] /Qirīmlī Amīna Rashīduvā /47-48
- 08) Birinchī qār (初雪) [詩] /Gulzārskī/49
- 09) Tābilghān khatt (見つけられた手紙) [文学] /Z. N./49-50

- 10) *Āvilda qizlār maktabī*（村での女子の初等学校）〔論説〕/Ş. Ayāgūzi/51-56
- 11) [Filiyatūn（戯評）] *Şū qizī*（水の娘）〔文学〕/M. D./52-58
- 12) *‘Ā’ila va āning vazīfalārī*（家族とその責務）〔論説〕/Raḥīmjan Ātnābāyif/57-60
- 13) «Millī kīmnāziya» tūrsinda bir ikī sūz（「民族的ギムナジア」に関する若干のことば）〔論説〕/Khadīcha Ūrskī/60-61
- 14) *Fāṭima Khānima bāghishlīm*（*Fāṭima Khānim* に捧げる）〔詩〕/Ruqayya Ibrāhīmuva/61
- 15) *Khānimlār diqqatīna*（ご婦人方ご注目を）〔論説〕/61-62
- 16) *Yārdam itik alī*（援助しよう，今）〔論説〕/62-63

4-5号（1917.1.10）

- 01) [Shi’r（詩）]〔無題〕〔詩〕/Maḥmūd Badīlī/65
- 02) *Vaṭan yūlinda, Nāpālyūnning pūlshalī khātūnī*（祖国のために，ナポレオンのポーランド人夫人）〔論説〕/Ş. J./66-71
- 03) *Şūghish ham musulmān ili*（戦争とムスリム地域）〔論説〕/‘Ārif Ālpāruf/71-73
- 04) *Shafākhānada*（病院で）〔論説〕/F. Sulṭānbik/73-75
- 05) *‘Ā’ila va āning vazīfalārī*（家族とその責務）〔論説〕/Raḥīmjan Ātnābāyif/75-77
- 06) *Āvillarda qizlār maktabī*（村での女子の初等学校）〔論説〕/Ş. Ayāgūzi/78-80

4-6号（1917.1.28）

- 01) *Sūngān yūldiz*（消えた星）〔詩〕/B. Mīrzānuf/81
- 02) *Tātār qiz*（タタールの娘）〔文学〕/Burhān Maṣṣūr/82-83
- 03) *Maktab kitāblārimizda rasmlar*（初等学校の本の中の絵）〔論説〕/‘A. Baṭṭāl/83-87
- 04) *Bāghishlāb*（捧げて）〔詩〕/«Kükib»/87
- 05) *‘Ā’ila va āning vazīfalārī*（家族とその責務）〔論説〕/Raḥīmjan Ātnābāyif/87-93
- 06) *Şū qizī*（水の娘）〔文学〕/M. D./88-95
- 07) *Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvāgha i‘ānalar*（*Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvā* への寄付）〔論説〕/94-96

4-7, 8号（1917.2.15）

- 01) *Şulghān chachak*（しおれた花）〔詩〕/B. Mīrzānuf/97-100
- 02) *Shafaqat tūtāshī*（やさしいお嬢さん）〔文学〕/Fātiḥ Bakr/100-104
- 03) *Pūchta ūnāghānda*（郵便遊びで）〔文学〕/J. Y./104-106
- 04) *Kishī tāvishī*（人の声）〔詩〕/Īsanbat/106
- 05) *Maktab kitāblārimizda rasmlar*（初等学校の本の中の絵）〔論説〕/‘A. Baṭṭāl/107-111
- 06) *‘Ā’ila va āning vazīfalārī*（家族とその責務）〔論説〕/Raḥīmjan Ātnābāyif/112-115
- 07) *Qārt bābāy*（老人）〔文学〕/F. Ibrāhīmu/116
- 08) *Ḍiyā’ (Ḍiyā’)*〔文学〕/M. Ūqmāṣī/116-119
- 09) *Kāzāchī khātūn qizlārī*（カザチの婦女子）〔論説〕/N./119-121
- 10) *Tūrmishimizdagḥī qārāngḥī bir lavḥa*（我々の生活における暗い一枚の図）〔論説〕/F. B./121-122
- 11) *Ūrinlī bir tavṣiya*（適切な勧め）〔論説〕/‘Alī Qūlātqī/122-124

- 12) Bukhārāda khātūnlār (ブハラでの婦人たち) [論説] /Zaynab Mūsā qizi Avḥadiyivā/124-125
- 13) Maktūblar (投書) [論説] /125-127
- 14) Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvāgha kīlgān i'ānalar (Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvā へ届いた寄付) [論説] /127-128

## 4-9号 (1917.3.15)

- 01) Būyūk rīvālyūtsya (大革命) [論説] /'A. Baṭṭāl/129-135
- 02) Khātūnlarning ḥādirgī vazīfalarī (婦人の現在の責務) [論説] /Y. Khalīlī/136-138
- 03) Ḥurrīyat dunyāsinda (自由の世界で) [論説] /Shahīd Aḥmadiyif/138-142
- 04) Musulmān khātūnlārining tāvishlārī (ムスリムの婦人たちの声) [論説] /142-143
- 05) Khātūnlargha tīgiz ḥuqūq (婦人たちに平等な権利を) [論説] /143-144
- 06) Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvāgha i'ānalar (Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvā への寄付) [論説] /144-裏表紙

## 4-10号 (1917.4.6)

- 01) «Ḥurrīyat ānāsī» Brīshkū-Brīshkūfskāyā (「自由の母」プレシュコ・プレシュコフスカヤ) [論説] /145-147
- 02) Yāngārghān rūsyada (新生ロシアで) [論説] /'A. Baṭṭāl/147-150
- 03) Khātūnlardaghī šāylāu ḥuqūqī (婦人たちの選挙権) [論説] /Shahīd Aḥmadiyif/151-153
- 04) Āzād khātūn (自由な婦人) [論説] /Y. Kh./154-156
- 05) Inqilāb kūnlarinda tātār khātūn-qizlārī (革命の日々におけるタタールの婦女子) [論説] /157-159
- 06) Khātūn-qizning ḥādirgī aḥvālī ḥaqqinda maṭbū'at fikrī (婦女子の現在の諸状況に関する各出版物の考え) [論説] /159-裏表紙
- 07) Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvāgha i'ānalar (Maryam Tūtāsh Raḥmānqūluvā への寄付) [論説] /裏表紙

## 4-11, 12号 (1917.5.10)

- 01) Maḥabbat imishī (愛の果实) [詩] /B. Mīrzānuf/161-162
- 02) Musulmān grāzhdānlār! (ムスリムの市民たちよ!) [論説] /163-164
- 03) Muslima qardashlarimizga (我らがムスリマ同胞へ) [論説] /«Tūtāshlar»/164-165
- 04) Maskav musulmalarī kāmititī tarafindan khīṭābnāma (モスクワのムスリマたちの委員会からの文書) [論説] /165-166
- 05) Qazāndaghī 'umūmī musulmalar isiyizdī (カザンでの全ムスリマ大会) [論説] /Y. Khalīlī/166-174
- 06) Samarqandda musulmalar jiyilishī (サマルカンドでのムスリマたちの集会) [論説] /'Abd al-Ḥamīd 'Azamat/175-176
- 07) Ūqitūchūlār isiyizdī (教師たちの大会) [論説] /Qiyām Yūldāsh/177-179
- 08) Khātūnlarning tūzūchī (婦人の法制定) [論説] /Viqāsh/179-181
- 09) Ḥurrīyat munāsabatī ila (自由に関して) [論説] /Şābirjān Ayāgūzī/181-183

- 10) Mamādish jiyilishī (ママデイシュの集会)〔論説〕 /‘Āliya Faḥlullinā, Fakhri Salimuvā/183-184
- 11) Mu‘allimalar qūrsī (女性教師の課程)〔論説〕 /185-186
- 12) Khātūnlarning sayläugha qātishulārına sharī‘at yāghindan qarāsh (婦人の選挙への参加についてシャリーアからの観点)〔論説〕 /187-189
- 13) Yāngā ghazitalar (新しい新聞)〔論説〕 /189-192
- 14) İkinchī mu‘allimalar qūrsī āchilā (二回目の女性教師の課程が開講する)〔論説〕 /192-(欠頁)

4-15号 (1917.8.14)

- 01)〔無題：詩〕〔詩〕 /Maḥmūd Badīli/217
- 02) Millī va madanī mukhtāriyat (民族的文明的自治)〔論説〕 /Y. Khalīli/218-221
- 03) Khātūn-qiz mas‘alasī (婦女子の問題)〔論説〕 /Amīna Shams al-Dīniya/221-222
- 04) Khātūnlar mas‘alasī (婦人問題)〔論説〕 /‘Abd al-Ḥayy Dīnmuḥammad/223-227
- 05) Khātūnlār ḥurriyatī (婦人の自由)〔論説〕 /227-230
- 06) ‘Āila va āning vazīfalarī (家族とその責務)〔論説〕 /Raḥīmjan Ātnābayif/231-232

4-16号 (1917.9.3)

- 01) Ḥurriyat kūnlarında (自由の日々で)〔詩〕 /B. Mirzānuf/233
- 02) Khātūnlar mas‘alasī (婦人問題)〔論説〕 /‘Abd al-Ḥayy Dīnmuḥammad/234-239
- 03) Khātūn-qiz ḥaqqında (婦女子に関して)〔詩〕 /Shaykh Allāh Zīna/239
- 04) Khātūnlarning masjidga yūrularī ḥaqqında (婦人たちがモスクへ行くことに関して)〔論説〕 /Muḥtafā Šidqī/240-241
- 05) Šūghish (戦争)〔詩〕 /Karīma ‘Uthmānuvā/242
- 06) Tatūshında mu‘allimalar qūrsī (テテュシでの女性教師の課程)〔論説〕 /Šaj/242-244
- 07) ‘Izrā‘il (‘Izrā‘il)〔文学〕 /Šadrī Jalāl/244-248
- 08) Mu‘allima kīrak kishīlarga (女性教師を必要とする方々へ)〔連絡〕 /Idāra/248

4-18号 (1917.12.10)

- 01) Šūghishda (戦争で)〔詩〕 /‘A. Luṭfi/263-267
- 02) [Adabiyāt (文学)] Jānbulā ṭāuvında (Jānbulā ṭāuviで)〔文学〕 /Kan/267-269
- 03) Ūchrīditinī sābrāniyaga sayläulār āldında (憲法制定会議への選挙の前に)〔論説〕 /Falak Zāda/270-271
- 04) Khalq qūrūltāynda muslima tilagī (人民会議でのムスリマの願い)〔論説〕 /Khīrūk/271-273
- 05) Ūchrīditinī sābrāniya va musulmān khātūnī (憲法制定会議とムスリム婦人)〔論説〕 /Rūsya muslimalarī markaz byūrāsī/273-275
- 06) Khātūnlarning sayläugha qātishulārī tiyish (婦人たちの選挙への参加は必須である)〔論説〕 /‘Ālimjan bin Muḥammadjan al-Bārūdī al-Muftī
- 07) Tūqiz ayliq ḥisāb (九ヶ月間の総括)〔論説〕 /Y. Khalīli/276-279
- 08) Birdan ārtiq khātūn alū ḥaqqında (一人より多く妻を娶ることについて)〔論説〕 /

- ‘Ālimjān bin Muḥammadjān al-Bārūdī al-Muftī, qāḍilār/280  
 09) [Ḥifz al-ṣiḥḥat (保健)] Ṭāzārīnū (健康になること) [論説] /Raḥīmjan Ātnābāyif/280  
 -282  
 10) Idāradan (編集部より) [連絡] /282

### 参 考 文 献

#### 一次資料

*Suyum Bike*, Kazan, 1913-1917.

#### 二次資料

- Battal-Taymas, Abdullah. 1988. *Kazan Türkleri: Türk tarihinin hazin yapıkları*, 3. basım, Ankara, (1. basım, İstanbul, 1925).
- Bennigsen, Alexandre et Lemerrier-Quelquejay, Chantal. 1964. *La presse et le mouvement national chez les Musulmans de Russie avant 1920*, Paris/La Haye.
- Dudoignon, Stéphane A. and Komatsu, Hisao (ed.). 2001. *Islam and Politics in Russia and Central Asia (Early Eighteenth to Late Twentieth Centuries)*, London/New York/Bahrain.
- Kanlidere, Ahmet. 1997. *Reform within Islam: The Tajdid and Jadid Movement among the Kazan Tatars (1809-1917): Conciliation or Conflict?*, Istanbul.
- Khasanov, M.Kh. (gl.red.). 1999. *Tatarskii entsiklopedicheskii slovar'*, Kazan'.
- Kırımlı, Hakan. 1996. *National Movements and National Identity among the Crimean Tatars (1905-1916)*, Leiden/New York/Köln.
- Lazzerini, Edward J.. 1973. "Ismail Bey Gasprinski and Muslim Modernism in Russia, 1878-1914.", Ph. diss., University of Washington.
- Rorlich, Azade-Ayşe. 1986. *The Volga Tatars: A Profile in National Resilience*, Stanford.
- Türkoğlu, İsmail. 2000. *Rusya Türkleri arasındaki yenileşme hareketinin öncülerinden Rızaeddin Fahreddin (1858-1936)*, İstanbul.
- 小松久男 1998 「危機と応戦のイスラーム世界」『岩波講座世界歴史21イスラーム世界とアフリカ』, 3-78頁, 岩波書店。
- (編) 2000 『新版世界各国史4 中央ユーラシア史』, 山川出版社。
- 西山克典 2002 『ロシア革命と東方辺境地域—「帝国」秩序からの自立を求めて』, 北海道大学図書刊行会。
- 山内昌之 1991 『ラディカル・ヒストリー—ロシア史とイスラム史のフロンティア』, 中央公論社。